

別冊資料

**JFMA**

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会

付 表

第1号議案 2019年度事業報告書及び決算報告

2019年4月1日～2020年3月31日

2020年6月25日





## 付1. 委員会

## 付1. 委員会

各委員会を下記のとおり実施した。(開催日と主な議題を記す。)

### 1. 企画運営委員会

- (1) 第164回 2019年5月10日(金)  
前年度事業実績報告及び決算報告(理事会議案書)について
- (2) 第165回 2019年8月8日(木)  
ファシリティマネジメントフォーラム2020コンセプトについて
- (3) 第166回 2019年10月3日(木)  
第3回理事会並びに代表者法人会員パーティ 他について
- (4) 第167回 2019年12月3日(火)  
2019年欧州3国FM視察調査団帰国報告、来年度理事会運営日程 他
- (5) 第168回 2020年2月6日(木)  
次年度事業計画及び事業予算(理事会議案書)について

### 2. 資格制度関連委員会

#### A. 資格制度委員会

- (1) 第1回 2019年8月27日(火)  
主な議題: 試験問題、答案の作成及び採点基準の承認、C方式修了考査問題の承認、  
試験合格者の決定、次年度の資格試験等について
- (2) 第2回 2019年12月19日(木)  
主な議題: 次年度試験委員・更新講習委員の承認、更新講習修了者の決定等について

#### B. 試験委員会

(試験委員会委員任期は2019年1月1日~12月31日、※は2018年度に行っている)

##### (試験委員会)

- (1) 第1回 試験委員会 2019年1月18日(金)※  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (2) 第2回 試験委員会 2019年3月2日(土)※  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (3) 第3回試験委員会 2019年4月6日(土)  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (4) 第4回試験委員会 2019年4月18日(木)  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (5) 第5回試験委員会 2019年7月27日(土)  
主な議題: 論述採点について
- (6) 第6回試験委員会 2019年12月12日(木)  
主な議題: 最新4か年認定ファシリティマネジャー資格試験問題集発刊について  
及び資格制度委員会等の報告について

##### (リーダー・サブリーダー会議)

- (1) 第1回リーダー・サブリーダー会議 2019年5月7日(火)  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (2) 第2回リーダー・サブリーダー会議 2019年5月28日(火)  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (3) 第3回リーダー・サブリーダー会議 2019年6月11日(火)  
主な議題: 試験問題案の審議検討等について
- (4) 第4回リーダー・サブリーダー会議 2019年7月23日(火)  
主な議題: 論述採点について
- (5) 第5回リーダー・サブリーダー会議 2019年10月1日(火)  
主な議題: 最新4か年認定ファシリティマネジャー資格試験問題集編集について
- (6) 第6回リーダー・サブリーダー会議 2019年10月15日(火)  
主な議題: 最新4か年認定ファシリティマネジャー資格試験問題集編集について

### C. 更新講習委員会

- (1)第3回 2019年4月22日(月)  
テキスト原稿の確認等
- (2)第4回 2019年5月20日(月)  
テキスト原稿審議、C方式問題作成の分担決定、D方式講師の決定
- (3)第5回 2019年6月17日(月)  
テキスト原稿確認、C方式問題審議、D方式時間割決定
- (4)第6回 2019年7月8日(月)  
C方式問題最終確認、更新テキスト原稿最終審議
- (5)第7回 2019年8月19日(月)  
D方式の講義用PPTの審議、更新テキスト現品点検
- (6)第8回 2019年9月30日(月)  
PPTスライド確認、アンケート内容審議
- (7)第9回 2019年12月16日(月)  
2019年度更新講習課程修了者の承認、次年度更新講習計画案の確認
- (8)第10回 2020年1月24日(金)  
2020年度更新講習委員会活動計画方針の協議

### 3. 調査研究委員会

- (1)第115回 2019年5月31日(金)  
ファシリティマネジメントフォーラム2019を振り返り、R4のスケジュールについて
- (2)第116回 2019年7月22日(月)  
調査研究部会活動の展開、FM秋の夜学校、TF等について
- (3)第117回 2019年11月28日(木)  
秋の夜学校振り返り、ファシリティマネジメントフォーラム2020部会発表について
- (4)第118回 2020年1月30日(木)  
今後の調査研究委員会、ファシリティマネジメントフォーラム2020発表結果について

### 4. 教育研修委員会

- (1)第1回 2019年6月5日(水)
  - ・ファシリティマネジメントフォーラム2020 PAG活動報告
  - ・今後の教育研修事業の方向性について
- (2)第2回 2019年9月10日(火)
  - ・ファシリティマネジメントフォーラム2020 開催概要(中間)報告&意見収集
  - ・今後の教育研修事業の方向性について
- (3)第3回 2019年10月28日(月)
  - ・ファシリティマネジメントフォーラム2020 開催概要(中間)報告&意見収集
  - ・今後の教育研修事業の方向性について  
教育・研修事業体系の見直し(「体系MAP」による見える)について
- (4)第4回 2019年12月4日(水)
  - ・ファシリティマネジメントフォーラム2020 開催概要(経過)報告&意見収集  
FORUM「プログラム」、企業展示コーナー、「FM何でも相談コーナー」について
  - ・次年度事業計画に向けて(実施すべき優先事項について)
- (5)第5回 2020年1月31日(水)
  - ・ファシリティマネジメントフォーラム2020 開催概要報告&意見収集  
FORUM「プログラム」最新版完成報告、「FM何でも相談コーナー」ビデオメッセージについて

## 5. 広報委員会

- (1) 第 129 回 2019 年 6 月 4 日(火)  
J FMA ジャーナル編集、ファシリティマネジメントフォーラム 2019 の開催報告
- (2) 第 130 回 2019 年 9 月 11 日(水)  
J FMA ジャーナル編集、特集内容と広報委員会の在り方について
- (3) 特別開催 2019 年 10 月 24 日(木)  
ファシリティマネジメントフォーラム 2020 相談コーナーについて (教育研修委員会と合同)
- (4) 第 131 回 2019 年 11 月 28 日(木)  
J FMA ジャーナル編集、ファシリティマネジメントフォーラム 2020 について
- (5) 第 132 回 2020 年 1 月 17 日(金)  
J FMA ジャーナル編集、ファシリティマネジメントフォーラム 2020 について

## 6. FM推進戦略委員会

- (1) 第 45 回 2019 年 4 月 3 日(水)  
「最新FM国際情勢」の説明、当委員会からの提言の報告、意見交換
- (2) 第 46 回 2019 年 6 月 5 日(水)  
「FMに関する国交省の取組」の説明  
「CASBEE－ウェルネスオフィス(2019)」の説明
- (3) 第 47 回 2019 年 8 月 7 日(水)  
「地域活性化に向けた不動産の利活用」の説明  
「FMテックの募集・発信(案)」の説明、討論
- (4) 第 48 回 2019 年 10 月 2 日(水)  
「ウェルネス重視の潮流～人フォーカス時代の都市開発・建築・ワークプレイス」  
の説明、「J FMA 公共向けの取組みについて」の説明、討論
- (5) 第 49 回 2019 年 12 月 4 日(水)  
「FMにおける WeWork の活用について」の説明  
「FMテック 2020 シンポジウム開催(案)」の説明、討論
- (6) 第 50 回 2020 年 2 月 5 日(水)  
「ファシリティマネジメントのための BIM ガイドライン」の説明  
「NY 不動産テックの動向について」の説明

## 7. J FMA 賞審査委員会

- (1) 第 1 回 2019 年 10 月 17 日(木)  
表彰規程概要確認、応募案件について意見交換、  
現地調査実施候補の選定、今後の進め方について
- (2) 第 2 回 2019 年 12 月 5 日(木)  
各賞推薦対象案件説明、各賞案件決定、今後のスケジュールについて

## 8. ISO/TC 267 ファシリティマネジメント国内専門委員会

本委員会の下に「FM JIS 原案作成委員会」を設立し、ISO 41001 に対応する FM JIS 原案の作成について審議。

## 9. コンプライアンス委員会

- (1) 第 16 回 2019 年 10 月 7 日(月) 労働環境の改善、働き方改革について
- (2) 第 17 回 2020 年 3 月 12 日(水) 相談・通報窓口の明確化、テレワーク勤務について

## 付2. 資格認定事業

## 付2. 資格認定事業

ファシリティマネジメントの専門家として「ファシリティマネジャー資格者」を一般社団法人ニューオフィス推進協会及び公益社団法人ロングライフビル推進協会と連携して認定する。このため、認定ファシリティマネジャー資格試験、資格登録、資格更新を制度化している。

資格試験を1997年度から毎年1回実施、2019年度まで累計15,067名の合格者を輩出し、今期末時点の資格登録者数は6,821名である。

受験資格は定めず誰でも受験可能であるが、資格登録には一定の実務経験を要することとしている。資格有効期間を5年とし、資格更新のために必要な講習会を毎年3回実施している。

認定ファシリティマネジャー資格者は、わが国及び海外の企業団体等においてファシリティマネジメントの実務を担っている。

### 1. 認定ファシリティマネジャー資格試験

次のとおり実施した。

(1) 試験日	2019年7月14日(日)
(2) 試験会場	東京： 学習院大学 目白キャンパス西5号館、北1号館 大阪： 大阪化学技術センター 札幌： 北海道自治労会館 名古屋： 名古屋商工会議所 福岡： 福岡商工会議所 仙台： 国際マルチビジネス専門学校 広島： R C C文化センター 金沢： 石川県教育会館 高松： 高松商工会議所
(3) 試験内容	学科試験及び論述試験
(4) 受験申込期間	2019年4月2日(月)～同年5月17日(金)
(5) 合否発表	2019年9月2日(月)
(6) 申込者数	1,447名
(7) 受験者数	1,172名
(8) 合格者数(合格率)	516名(44.0%)

### 2. 認定ファシリティマネジャー資格登録

認定ファシリティマネジャー資格試験の合格者のうち、一定の実務経験保持者で申請のあった者に対し、「認定ファシリティマネジャー資格者(CFMJ)」の称号を付与し登録する。

登録申請は試験合格の後いつでも行うことができるが、合格後5年を経過した場合には更新講習を受講することを要する。今年度登録者数は409名。内、今年度合格した者は326名。

### 3. 認定ファシリティマネジャー資格更新登録

認定ファシリティマネジャー資格有効期間が5年であることから、資格有効期間が満了する者を対象として、次の4方式による資格更新を行う。

なお、すでに資格有効期間が過ぎ更新していない者が改めて資格登録を希望する場合、及び試験合格後5年を経過した者が初めて資格登録を行う場合には「C方式(在宅講座)」または、「D方式(集合講座)」を受講することにより資格登録を行うことができる。

- (1) 資格更新登録方式
- A：個人会員
  - B：FM活動ポイント
  - C：在宅講座
  - D：集合講座

(2) 申込受付期間

2019年8月1日(木)～同年9月20日(金)

(3) D方式(集合講座)の開催日程と開催地

2019年10月11日(金) 大阪 大阪科学技術センター  
2019年10月17日(木) 東京(1回目) 一橋大学一橋講堂中会議室  
2019年10月18日(金) 東京(2回目) 同上

(4) 更新登録者数

998名

(資格更新登録方式別内訳)

A : 113名

B : 30名

C : 255名

D : 600名

#### 4. 認定ファシリティマネジャー合格者・資格登録者等の現状

(1) 認定ファシリティマネジャー（CFMJ）資格者統計データ

2020年3月31日 現在

年度	CFMJ 資格試験				CFMJ資格試験 合格者 データ							CFMJ 資格登録者 ※1		
	受験 申込者 (人)	受験 者 (A (人)	合格 者 (B (人)	合格 率 B/A (%)	平均 年齢 歳	最高 年齢 歳	最低 年齢 歳	男性 (人)	男性 比率 (%)	女性 (人)	女性 比率 (%)	新規 登録 者 (人)	更新 登録 者 (人) ※3	有効 登録 者 (人)
1997年 (平成9年度) ※4	2316 (679)	2132 (679)	981 (679)	46.0 -	40.0 -	70 -	25 -	941 -	95.9 -	40 -	4.1 -	981 (679)	-	1,660
1998年 (平成10年度) ※4	2001 (109)	1809 (109)	753 (109)	41.6 -	39.3 -	64 -	25 -	720 -	95.6 -	33 -	4.4 -	753 (109)	-	2,522
1999年 (平成11年度) ※4	1688 (132)	1489 (132)	640 (132)	43.0 -	39.0 -	65 -	25 -	605 -	94.5 -	35 -	5.5 -	640 (132)	-	3,294
2000年 (平成12年度)	2,022	1,783	895	50.2	39.5	61	25	864	96.5	31	3.5	895	-	4,189
2001年 (平成13年度)	2,463	2,172	861	39.6	39.1	64	22	815	94.7	46	5.3	634	-	4,823
2002年 (平成14年度)	2,517	2,145	927	43.2	39.2	63	20	882	95.1	45	4.9	694	959	5,517
2003年 (平成15年度)	2,399	2,052	824	40.2	37.7	66	22	761	92.4	63	7.6	635	743	5,437
2004年 (平成16年度)	1,932	1,653	684	41.4	39.5	61	20	633	92.5	51	7.5	527	575	5,858
2005年 (平成17年度)	2,017	1,677	683	40.7	37.7	62	20	621	90.9	62	9.1	550	514	6,212
2006年 (平成18年度)	1,651	1,349	555	41.1	37.0	68	22	494	89.0	61	11.0	448	527	6,279
2007年 (平成19年度)	1,701	1,395	540	38.7	37.9	61	20	491	90.9	49	9.1	433	1,165	6,514
2008年 (平成20年度)	1,748	1,436	635	44.2	36.1	65	19	568	89.4	67	10.6	466	892	6,540
2009年 (平成21年度)	1,488	1,272	510	40.6	41.6	66	20	456	89.4	54	10.6	413	783	6,468
2010年 (平成22年度)	1,324	1,137	490	43.1	39.5	65	21	432	88.2	58	11.8	376	748	6,363
2011年 (平成23年度)	1,217	1,071	471	43.8	38.7	62	21	419	89.0	52	11.0	380	683	6,406
2012年 (平成24年度)	1,174	1,025	450	43.9	39.1	67	21	406	90.2	44	9.8	389	1,176	6,521
2013年 (平成25年度)	1,196	1,034	450	43.5	38.8	65	24	394	87.6	56	12.4	391	986	6,453
2014年 (平成26年度)	1,224	1,075	472	43.9	39.0	62	21	413	87.5	59	12.5	398	878	6,447
2015年 (平成27年度)	1,283	1,074	473	44.0	40.3	67	22	417	88.2	56	11.8	426	823	6,565
2016年 (平成28年度)	1,315	1,070	470	43.9	41.1	69	21	407	86.6	63	13.4	387	807	6,645
2017年 (平成29年度)	1,300	1,036	455	43.9	39.4	68	22	380	83.5	75	16.5	374	1,117	6,751
2018年 (平成30年度)	1,214	937	412	44.0	40.6	69	23	335	81.3	77	18.7	365	1,074	6,679
2019年 (令和元年度)	1,447	1,172	516	44.0	39.7	65	21	414	80.2	102	19.8	409	998	6,821
1997-2019 年度累計	39,557	33,915	15,067	-	-	-	-	12,868	-	1,279	-	-	-	-

★各年度の資格登録者数は3月31日時点のものです。最新年度の資格登録者数は、上記の日付に抛ります。

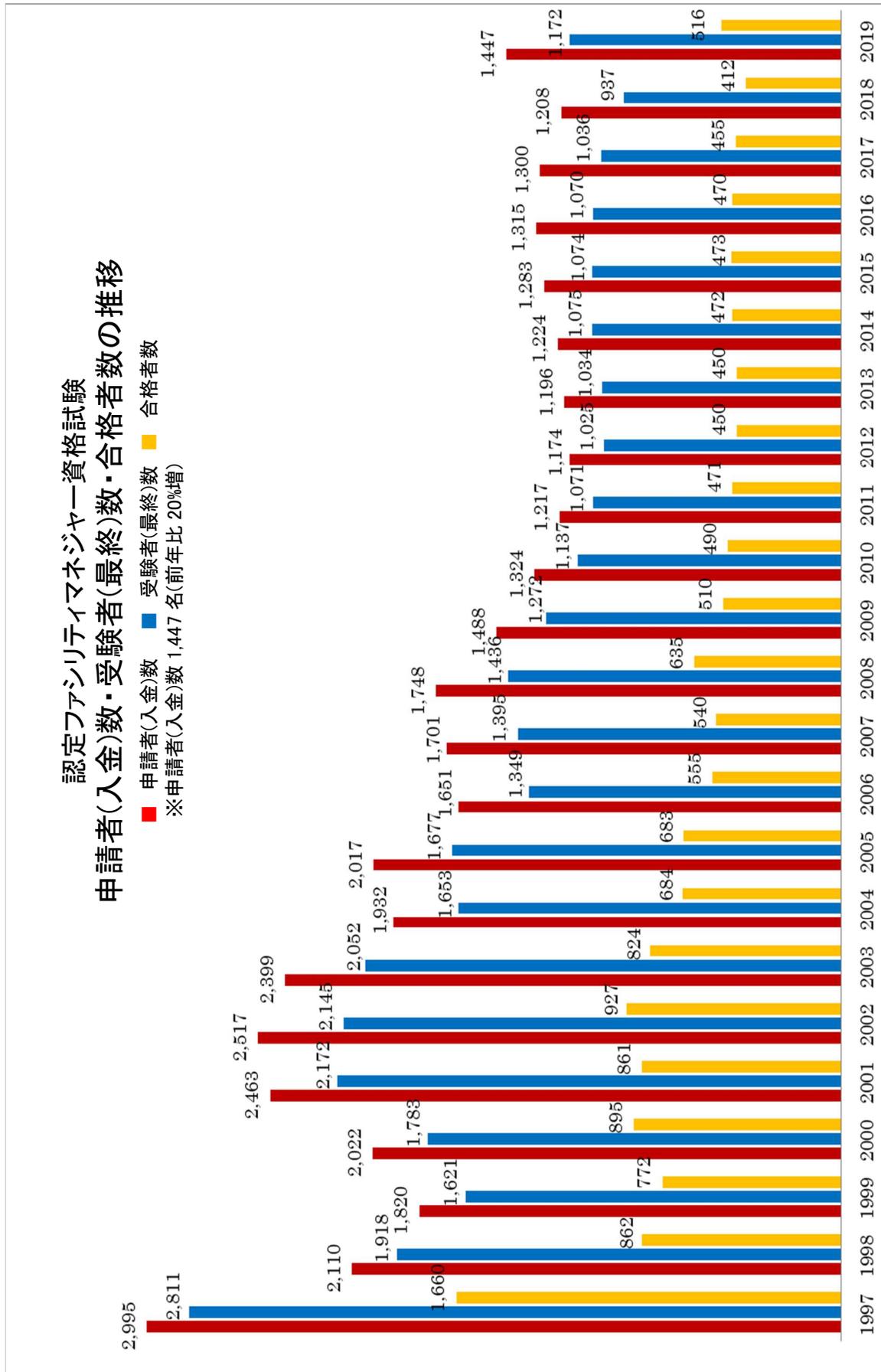
CFMJ (Certified Facility Manager of Japan)

F M 資格制度協議会が認定するファンシリティマネジャー資格

- ①公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 (J F M A)
- ②一般社団法人 ニューオフィス推進協会 (N O P A)
- ③公益社団法人 ロングライフビル推進協会 (B E L C A)

- 資格登録者とは、試験に合格し資格の新規登録申請・審査を行い、認定ファシリティマネジャー（CFMJ）の称号を付与された資格取得者です。
- 資格更新登録者には、①登録有効期間（合格または更新後5年）の満了にともない継続して登録した方、②登録有効期間を過ぎて失効し再登録した方、③資格試験合格後5年以内に初回登録をせず更新講習を受講した後に新規登録をした方が含まれます。
- 新規登録には、①登録有効期間内（合格後5年以内）に初回登録をした方、②前年に更新講習を受講後初回登録をした方が含まれます。
- 1997年度・1998年度・1999年度の資格試験・新規登録者欄の①上段は受験による人数、②下段（ ）内は特別措置による特別講習修了者の人数（合格者と見做す）が表記されています。（特別講習は、1997年度から3か年に限っての特別措置として実施されました。）
- 2018年度資格試験「広島会場」は西日本豪雨の影響で中止となりました。

(2) 認定ファシリティマネジャー資格 受験者/合格者の年度別推移



付 3. 教育研修事業及び通信教育事業

### 付3 教育研修事業

#### 1. 初級FMスクールの実施

ファシリティマネジメントの初心者を対象としたセミナーを、「公式ガイド ファシリティマネジメント」に基づくテキストを用いて計3回開催し、合計75名が受講した。

テーマ	FMの基本を学ぶ。
開催日時	【第1回】2019年8月2日(金) 10時00分～17時30分 【第2回】2019年10月25日(金) 10時00分～17時30分 【第3回】2019年12月13日(金) 10時00分～17時30分
場所	東京：JFMA事務所 会議室
講師	松岡 利昌 (株式会社松岡総合研究所 代表取締役) 齋藤 敦子 (コクヨ株式会社 ワークスタイル研究所 主幹研究員) 重網 鉄哉 (JFMA事業統括部長) 成田 一郎 (JFMA専務理事)
受講料	会員 10,000円 非会員 15,000円
受講者	【第1回】27名 【第2回】24名 【第3回】24名

#### 2. 日本ファシリティマネジメント大会 (ファシリティマネジメントフォーラム2020) におけるセミナー

(1) テーマ：「人フォーカスの時代」 — ファシリティマネジメントが拓く未来 —

(2) 日程：2020年2月19日(水)～21日(金)

(3) 会場：タワーホール船堀 (江戸川区船堀4-1-1)

(4) 来場者数：入場者(受付)数 2,175名、延べセミナー聴講者数 5,605名

(5) プログラム構成 (下記参照、計83講座)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| ① 主演者講演         | 1 講座     |
| ② 基調講演          | 3 講座     |
| ③ 特別講演          | 6 講座     |
| ④ JFMA賞受賞講演     | 7 講座 ※注) |
| ⑤ 応募講演          | 24 講座    |
| ⑥ 研究部会講演        | 12 講座    |
| ⑦ シンポジウム        | 7 講座     |
| ⑧ 企画講演          | 4 講座     |
| ⑨ 企業団体プレゼンテーション | 18 講座    |
| ⑩ 初級FM講座        | 1 講座     |

※2019年度JFMA賞 優秀ファシリティマネジメント賞受賞者による受賞内容講演

(6) 展示会：出展企業団体 25企業

# 2/19日(水) セミナー・イベントスケジュール

00: 概要紹介ページ

## 大ホール

13:30 ~ 14:10 (40分)

**【主催者講演】**  
**こころの時代**  
**山田 匡通**  
公益社団法人  
日本ファシリティマネジメント協会  
会長 10

インターミッション 10分

14:20 ~ 15:40 (80分)

**【基調講演】**  
**Our Business is People Business**  
**-人間は環境の動物である-**  
**松本 晃**  
元カルビー株式会社  
代表取締役会長兼CEO 11

インターミッション 10分

15:50 ~ 17:10 (80分)

**【基調講演】**  
**人と自然と技術の共生**  
**-人を育て、産業廃棄物を資源に変える-**  
**石坂 典子**  
石坂産業株式会社  
代表取締役 11

インターミッション 10分

17:20 ~ 18:20 (60分)

**【特別講演】**  
**人を大切にする経営**  
**-アリババと世界の最新FM情報-**  
**松岡 利昌**  
株式会社松岡総合研究所 代表取締役  
日本オフィス学会 会長 JFMA理事 12

インターミッション 10分

18:30 ~ 19:30 (60分)

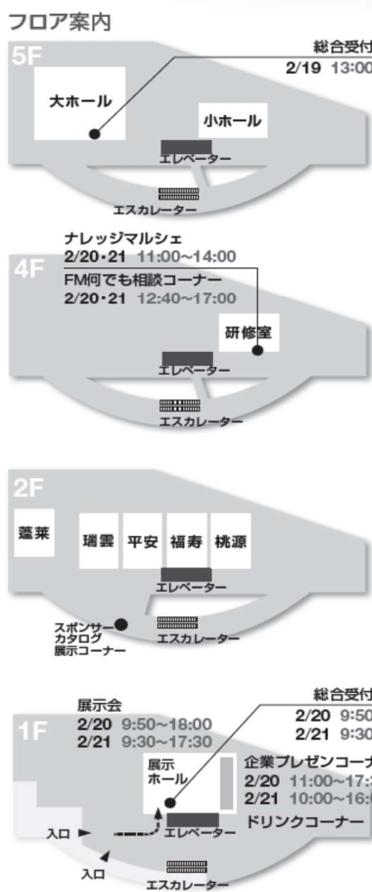
**【初級FM講座】**  
**FMの基本と実例**  
**成田 一郎**  
JFMA専務理事 12

**主催者講演**  
  
**山田 匡通**  
JFMA会長

**基調講演**  
  
**松本 晃**  
元カルビー株式会社  
代表取締役会長 兼 CEO

  
**石坂 典子**  
石坂産業株式会社  
代表取締役

**特別講演**  
  
**松岡 利昌**  
株式会社  
松岡総合研究所  
代表取締役



# 2/20日(木) セミナー・イベントスケジュール

9:30 ~ 9:50	オープニングセレモニー 1階 展示会場			
時間	大ホール			
10:20 ~ 11:40 (80分)	【基調講演】 自己肯定感と自信を育む力 <b>柳沢 幸雄</b> 開成中学校・高等学校校長、東京大学名誉教授、 元ハーバード大学公衆衛生大学院環境健康学科准教授・併任教授 <b>13</b>			
会場	小ホール	蓬 菜	瑞 雲	平 安
会場 カテゴリー	特別講演・JFMA賞	調査研究部会	リスク・防災	環 境
時間 区分	12:00 ~ 12:40 (40分)	12:00 ~ 12:40 (40分)	12:00 ~ 12:40 (40分)	12:00 ~ 12:40 (40分)
	【特別講演】 成功する組織のカギ:幸せ (Happiness) <b>島田 由香</b> ユニリーバジャパンホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長 <b>13</b>	【品質評価手法研究部会】 ファシリティの品質評価項目を考える <b>野瀬 かおり</b> ファシリティマネジメント総合研究所 <b>16</b>	施設群の建物リスク対策完遂 マネジメント手法のご紹介 <b>梶原 恒平</b> <b>北林 泰彰</b> NTTファシリティーズ <b>17</b>	これからの国内における フロン対策 <b>山本 隆幸</b> 日本冷媒・環境保全機構 <b>19</b>
12:40 ~ 13:40 (60分)	昼休み 60分			12:50~13:30 【海外招待講演】 ヨーロッパのFM動向と PLANON社の取組み <b>Ms.Julia Bar</b> オランダ・PLANON社
13:40 ~ 14:20 (40分)	【特別講演】 令和をFMの時代に ー 自治体経営に必要不可欠な ファシリティマネジメントー <b>北川 正恭</b> 早稲田大学名誉教授 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 元 三重県知事 <b>14</b>	【FMプロジェクトマネジメント研究部会】 「人」フォーカス時代の FMプロジェクトマネジメント <b>穂積 義剛 菅野 誠</b> <b>安田 晋也 亀田 真理子</b> <b>16</b>	FMが担う 帰宅困難者対策と課題 <b>田中 純一</b> ビル減災研究所 <b>18</b>	アスベスト対策の重要性と 最新の社会情勢 <b>宮崎 恒一</b> エコ24 <b>19</b>
14:40 ~ 15:20 (40分)	JFMA 賞授賞式 準備	【FM財務評価手法研究部会】 FM財務評価ハンドブックの 改訂について <b>大山 信一</b> 三井住友建設 <b>16</b>	実戦的防災訓練の シナリオと進行のポイント <b>上倉 秀之</b> Facility Management 防災Lab <b>18</b>	経営に寄与する“人のための3つの省” 省人化・省リスク・省エネ <b>西片 一成</b> 高砂丸誠エンジニアリング サービス <b>19</b>
15:50 ~ 16:30 (40分)	JFMA 賞授賞式  15:50 受付 16:10 開会	【オフィス・ワークプレスの知的生産性研究部会】 ワークプレイスモデルSOFの アンケート調査結果 <b>坪本 裕之</b> 首都大学東京 <b>17</b> <b>菅野 文恵</b> セロイン	IT・IoTを活用した 施設・設備等の総合管理 <b>水谷 紀彦</b> 総合警備保障 <b>18</b>	【特別講演】 クリニックのチェーン化の実践 365日・夜間対応可能な診療体制の構築 <b>鶴谷 武親</b> CAPS株式会社代表取締役社長 早稲田大学大学院客員教授 <b>20</b>
16:50 ~ 17:30 (40分)		【ここからだのウェルビーイング研究部会】 ウェルビーイングを生み出す ワークプレイスに関する調査(第一報) <b>中家 良夫</b> 内田洋行健康保険組合 <b>17</b> <b>大久保 玲生</b> パーソナルトレーナー	ネットワークング パーティ準備	インターミッション 30分
18:00 ~ 20:00			ネットワークング パーティ	JFMA 賞受賞祝賀会 18:30 ~ 20:00



# 2/21日(金) セミナー・イベントスケジュール

会場	小ホール	蓬 萊	瑞 雲	平 安
カテゴリ	特別講演・シンポ	調査研究部会	JFMA 賞受賞講演	公共・ICT・インフラ
10:00 ~ 10:40 (40分)	<b>【特別講演】</b> デジタルトランス フォーメーション(DX)の 本質  <b>高木 聡一郎</b> 東京大学大学院情報学環准教授	<b>【FM戦略・企画研究部会】</b> 都市の持続可能性・活性化とレジリエンス 高藤 真澄 NTTファシリティーズFMアシスト 塚田 敏彦 NTTファシリティーズ総合研究所 重富 賢太郎 Facility Conceptor 26	<b>【最優秀FM賞】</b> (論議賞) 持続可能な社会構築のための広域FM 神奈川県住宅供給公社の事例 神奈川県住宅供給公社 29	よくわかる! 公共建物の長寿命化 天神 良久 東洋大学 秋山 克己 日本メックス 33
	インターミッション 20分			
11:00 ~ 11:40 (40分)		<b>【エネルギー環境保全マネジメント研究部会】</b> 経営課題となった脱炭素・ 循環型社会・職場環境の動向 横山 健児 NTTファシリティーズ 26	<b>【優秀FM賞】</b> 消滅可能性都市が導く 持続可能な公園経営 東京都豊島区 30	公会計データの施設コスト 評価活用例 加藤 泰正 日本設計 33
	インターミッション 20分			
12:00 ~ 12:40 (40分)	<b>【特別講演】</b> テレワーク推進と ファシリティマネジメントの潮流 湯田 健一郎 東京テレワーク推進センター事業責任者 24	<b>【CREマネジメント研究部会】</b> CREマネジメントで組織とワーカーを 活性化するノウハウについて 大野 晃敬 東京オペラシティビル 百嶋 徹 ニッセイ基礎研究所 27	<b>【優秀FM賞】</b> 全室個室病棟の 県立下呂温泉病院における FM実践活動 岐阜県立下呂温泉病院 30	FM価値を可視化する ワークテック最前線 岡田 大士郎 三幸エステート 33
12:40 ~ 13:40 (60分)	昼休み 60分			
13:40 ~ 14:20 (40分)	<b>eコマースとFM                      シンポジウム</b> eコマース時代の 商業施設のあり方を考える  ●講演パネリスト 栗原 弘一 森ビル 四方 基之 イオンディライト 古橋 正浩 楽天 池澤 威郎 福山市立大学 千葉 友範 EYアドバイザリーアンド コンサルティング ●コーディネータ 松岡 利昌 松岡総合研究所 25	<b>【リスクマネジメント研究部会】</b> 自然災害に対する施設リスク把握 上倉 秀之 Facility Management 防災Lab 27	<b>【特別賞】</b> 横浜中央郵便局別館における 施設暫定活用プロジェクトの取組み 日本郵便 アカツキライブエンターテインメント 31	オーナーと 現場をハッピーに! 柳 良和 住友セメントシステム開発 34
	インターミッション 20分			
14:40 ~ 15:20 (40分)		<b>【運営維持手法研究部会】</b> 運営維持の視点で 「ファシリティマネジャーを育てるヒント」 (初級者編) 吉瀬 茂 工学院大学 27	<b>【技術賞】</b> 自然の原音(周波数)を活用し、 空間の快適性を高める技術の開発 JVCケンウッド・ ビクターエンタテインメント 31	品質&安全確保のための 研修施設活用の取組み 盛本 昌貴 柳澤 庸治 日本メックス 34
	インターミッション 30分			
15:50 ~ 16:30 (40分)	<b>BIM・FMシンポジウム</b> ファシリティマネジメントに BIMは有効か  ●講演パネリスト 田伏 翔一 国土交通省 木村 圭介 FMシステム 澤本 勇樹 アイスクウェア  ●コーディネータ 猪里 孝司 大成建設 天神 良久 東洋大学 25	<b>【人と場へのFM投資価値研究部会】</b> 「人と場」FMが創出する ウェルネス組織運営 岡田 大士郎 三幸エステート 28	<b>【功績賞】</b> ブルースタジオ20年間の実践と書籍 「なぜ僕らは今、リノベーションを 考えるのか」:ビデオ講演 大島 芳彦 ブルースタジオ 32	<b>インフラシンポジウム</b> 「インフラ点検のすゝめ」出版記念シンポジウム 技術者は育てなければ育たない! ●講演パネリスト 宮里 心一 金沢工業大学 植野 芳彦 富山市 松本 健 国土交通省 丸山 久一 長岡技術科学大学 田村 裕美 ソーシャルテクニカ 盛重 知也 西松建設 渡邊 大介 ガイアート 岩佐 宏一 アイセイ ●コーディネータ 中川 均 ガイアート 35
	インターミッション 20分			
16:50 ~ 17:30 (40分)		<b>【キャンパスFM研究部会】</b> 私立大学の財務支援における FMの在り方 藤村 達雄 東京音楽大学 28	<b>【功績賞】</b> ビルメンテナンスの記録に基づく 故障・不具合に関する一連の研究 故障・不具合に関わる 研究グループ 32	

福 寿	桃 源	展示会場
SDGs・WELL	働き方改革・イノベーション	企業プレゼン
健康経営・WELL シンポジウム 人フォーカス時代の 健康経営・ウェルビーイング・ 働き方改革 ●講演/パネリスト 浅野 健一郎 フジクラ健康社会研究所 似内 志朗 ファシリティデザインラボ 高原 良 イトーキ ●コーディネーター 齋藤 敦子 コクヨ 36	チームビルディングとしての オフィスづくり 八塚 裕太郎 ヒトカラメディア 38 インターミッション 20分 オフィスプロジェクトでの 調査とその活用 平出 英仁 ディーサイン 38 インターミッション 20分	10:00~10:30 BIM-FMの仕組み概要を解説 福井コンピュータアーキテクト 44 インターミッション 10分 10:40~11:10 常に進化し続けるワークプレイスを目指して 三菱地所 44 インターミッション 10分 11:20~11:50 コミュニケーション可視化による シミズのワークプレイスづくり 清水建設 44 インターミッション 10分
JFMA欧州3国FM視察調査団 報告 似内 志朗 ファシリティデザインラボ 36	企業資産価値を最大化する FMプラットフォーム海外事例 ご紹介 Dennis Cheng ARCHBUS Inc. 39	12:00~12:40 FM入門者のための 「FM何でも相談コーナー」 オリエンテーション JFMA教育研修委員会 川村 裕・金 英範 ほか インターミッション 10分
昼休み 60分		12:50~13:20 ICTを活用した 維持管理業務の刷新 日本メックス 44 インターミッション 10分
SDGs シンポジウム SDGsで社会・FMは どのように変わるのか ●講演/パネリスト 吉田 綾 外務省国際協力局 山田 太雲 デロイトトーマツ コンサルティング 牧 貞夫 NTT 都市開発 齋藤 敦子 コクヨ ●コーディネーター 似内 志朗 ファシリティ デザインラボ 37	FMイノベーションの 取組み 横山 淳 JR東日本ビルテック 39 インターミッション 20分 オフィス内における 業務活動データ分析と 利活用について 田中 勇一 イトーキ 39	13:30~14:00 働き方改革 (ペーパーレス~オフィス構築) イトーキ 45 インターミッション 10分 14:10~14:40 実践大成建設のFMは ウェルネスを進化させる 大成建設 45 インターミッション 10分 14:50~15:20 建物維持管理情報の活用と その蓄積手法 住友セメントシステム開発 45 インターミッション 10分
SDGsに関する FM手法の思考 安藤 秀徳 森下 克也 東京美装興業 37	ネクサス・コモンズ イノベーションを超える 創生空間の創り方 前田 明洋 オカムラ 40	15:30~16:00 大災害時代における FM企業の担うべき使命 イオンディライト 45
WELL・ZEBの 相乗効果が見える10の方法 丸山 玄 大成建設 38	ワーカーが幸せに働ける環境とは? フレキシブルワークプレイスという 選択肢 石崎 真弓 ザイマックス不動産総合研究所 40	

特別講演

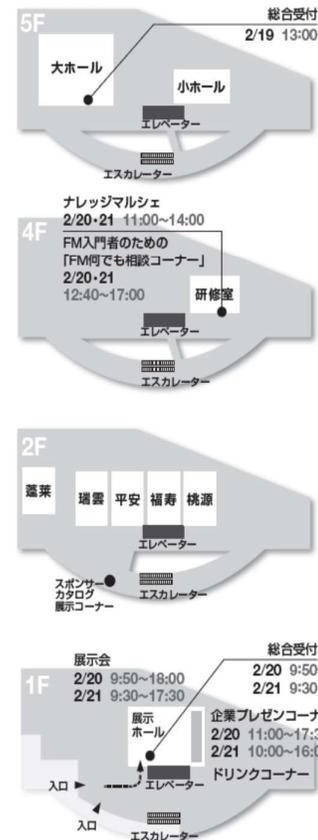


高木 聡一郎  
東京大学  
大学院情報学専攻准教授



湯田 健一郎  
東京テレワーク  
推進センター 専任責任者

フロア案内



(8) 展示会内容

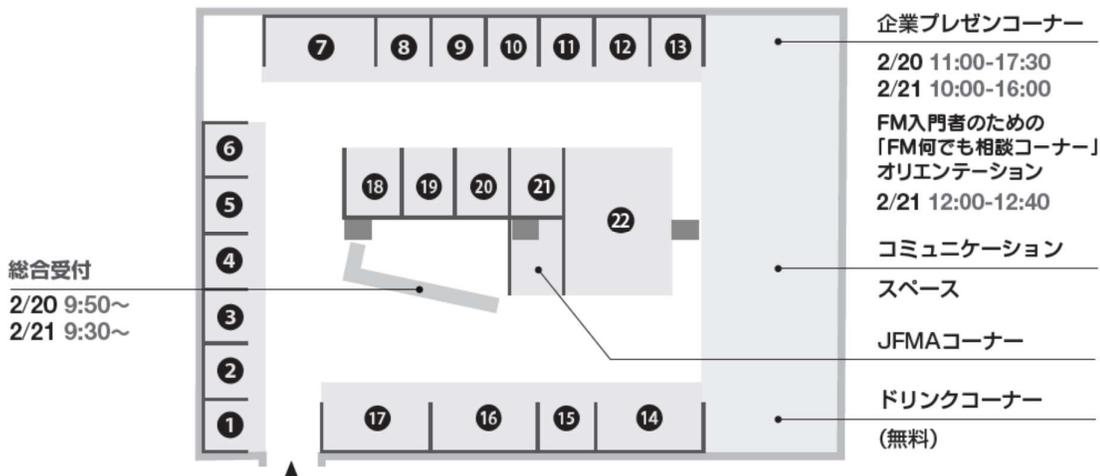
# 2/20日(木)~21日(金) 展示会 / カタログ展示

## 展示会 46~53

2月20日(木) オープニングセレモニー  
9:30- 9:50  
開催 9:50-18:00

2月21日(金) 開催 9:30-17:30

### 1F 展示ホール



① アット・ファシリティラボ株式会社	⑨ プロパティデータバンク株式会社	⑱ 株式会社ユニティ
② 株式会社 FMシステム	⑩ 日比谷総合設備株式会社	⑲ 日本メックス株式会社
③ 福井コンピュータアーキテクト株式会社	⑪ セイキ工業株式会社	⑳ 株式会社ウフル
④ 株式会社アプトシステム	⑫ JR東日本ビルテック株式会社	㉑ 株式会社ぶんぶく
⑤ 株式会社ディー・サイン プレイスマネジメント研究所	⑬ 株式会社山下 PMC	株式会社イトーキ
⑥ 株式会社 NTTファシリティーズ	⑭ 株式会社アイスクウェアド	株式会社内田洋行
⑦ 大成建設株式会社	⑮ 株式会社スターメンテナンスサポート	⑳ 株式会社オカムラ
⑧ 株式会社エコ・24	⑯ シバタ工業株式会社	㉒ 株式会社ココヨ株式会社
	⑰ 住友セメントシステム開発株式会社	

## カタログ展示コーナー 会場: 2F ロビー

### カタログ展示企業・団体紹介 (50音順)

ARCHBUS Inc.	株式会社竹中工務店
イオンディライト株式会社	日本メックス株式会社
株式会社イトーキ	日比谷総合設備株式会社
株式会社内田洋行	福井コンピュータアーキテクト株式会社
株式会社 NTTファシリティーズ	株式会社山下 PMC
株式会社 FMシステム	株式会社ビケンテクノ
住友セメントシステム開発株式会社	株式会社ウフル
大成建設株式会社	株式会社構造計画研究所
プロパティデータバンク株式会社	株式会社コンステックホールディングス
ココヨ株式会社	ジョーンズラングラサール株式会社
三機工業株式会社	株式会社スターメンテナンスサポート
高砂熱学工業株式会社	大星ビル管理株式会社
高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社	ダイダン株式会社



### 3. ウィークリーセミナー

FM最新話題に関するセミナーを、外部見学会も含めて開催した。受講者総数は375名。

場 所	JFMA会議室（但し、見学会は現地。）		
参 加 費 用	会員 2,000 円 非会員 3,000 円		
1	テ ー マ	「災害時、自ら家族を守るために」軽自動車でつくる防災キャンピングカー	
	開 催 日	2019年4月10日(水)	受 講 者 数 17名
	講 師	JFMA事務局 土屋 知彦	
2	テ ー マ	FMの基本を学ぶ。JFMA賞から学ぶ。	
	開 催 日	2019年4月24日(水)	受 講 者 数 14名
	講 師	JFMA専務理事 成田 一郎	
3	テ ー マ	三菱地所本社移転を通じたFM戦略の実現とまちへの展開	
	開 催 日	2019年5月15日(水)	参 加 者 数 20名
	見 学 会	第13回JFMA賞 優秀FM賞 三菱地所株式会社 本社	
4	テ ー マ	ビジネスの変化に迅速に対応する“AGILE OFFICE”	
	開 催 日	2019年5月22日(水)	参 加 者 数 20名
	見 学 会	第13回JFMA賞 奨励賞 ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社 東京本社	
5	テ ー マ	働き方改革を促進させるFM ～自律と協業がもたらす新たな企業風土～	
	開 催 日	2019年5月29日(水)	参 加 者 数 19名
	見 学 会	第13回JFMA賞 優秀FM賞 (株)日本アイ・ビー・エム 大阪事業所	
6	テ ー マ	コミュニケーションと業務の質・スピードが向上できる FUNのある場	
	開 催 日	2019年6月12日(水)	参 加 者 数 20名
	見 学 会	第13回JFMA賞 奨励賞 日本マクドナルド株式会社 本社	
7	テ ー マ	横浜銀行におけるファシリティマネジメントの実践について	
	開 催 日	2019年6月26日(水)	受 講 者 数 26名
	講 師	株式会社横浜銀行 営業戦略部担当部長 佐野 達也氏	
8	テ ー マ	JFMA賞応募のコツ -受賞例を通して-	
	開 催 日	2019年7月3日(水)	受 講 者 数 19名
	講 師	JFMA専務理事 成田 一郎	
9	テ ー マ	組織的かつ継続的なFMによる県有施設の利活用の取組	
	開 催 日	2019年7月17日(水)	受 講 者 数 29名
	講 師	青森県総務部建築住宅課 課長代理 駒井 裕民氏	
10	テ ー マ	実戦的防災訓練・災害時救出訓練について	
	開 催 日	2019年9月4日(水)	受 講 者 数 17名
	講 師	Facility Management 防災Lab 上倉 秀之氏	
11	テ ー マ	「テレワーク体験セミナー」～経営課題を解決する働き方改革とは？	
	開 催 日	2019年9月18日(水)	受 講 者 数 13名
	講 師	株式会社テレワークマネジメントマネージャー シニア・テレワークコンサルタント 鶴澤 純子氏	
12	テ ー マ	建物の大規模修繕工事によって架空資産と不必要な税金が発生する社会的問題について	
	開 催 日	2019年12月18日(水)	受 講 者 数 29名
	講 師	千葉商科大学 土屋 清人 博士	

	テ ー マ	①オリンピック後の東京都心部賃貸オフィス市場の動向と展望 ②フレキシブルオフィスサービスの動向と展望		
13	開 催 日	2020年1月22日(水)	受 講 者 数	24名
	講 師	①三幸エステート株式会社 市場調査室長 チーフアナリスト 今関 豊和 氏 ②株式会社ザイマックス不動産総合研究所 主任研究員 石崎 真弓 氏		
	テ ー マ	「省エネ職人から学ぶエネルギーチューニングの神髄」 ①アナログとデジタルの明日に架ける橋で経営貢献 ②某商業施設で展開したチューニング職人技とその成果 ③エコチューニングとビルメンの職人技 ④あなたもできる！ アナログ的省エネ ⑤ラップアップ/シンポジウムコーディネーター		
14	開 催 日	2020年2月1日(土)	受 講 者 数	24名
	講 師	①省エネ職人会 世話人代表 緑川 道正 氏 ②エス・ビー・エス株式会社 専務 三輪 直樹 氏 サブマネージャー 沓掛 猛 氏 ③公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 エコチューニング推進センター事務局 奥島 史朗 氏 ④高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社 執行役員 村上 俊博 氏 ⑤FDL 代表 似内 志朗氏		
	テ ー マ	「ファシリティマネジメントフォーラム2020」 見どころガイド		
15	開 催 日	2020年2月5日(水)	受 講 者 数	9名
	講 師	JFMA 専務理事 成田 一郎		

※2019年9月～11月の期間は「JFMA FM 秋の夜学校」として開催。

#### 4. 専門分野特別セミナー

- (1) JFMAの調査研究部会(18部会)が、それぞれの研究成果をテーマに「JFMA FM 秋の夜学校」として公開セミナーを開催した。  
今期は一度に2部会が発表する方式とした。受講者総数は291名。

	場 所	JFMA会議室		
	参 加 費 用	会員2,000円 非会員3,000円		
	テ ー マ	①ユニバーサルデザインの基本的知識 ②ウェルビーイングを実現するためのファシリティマネジメント入門		
1	開 催 日	2019年9月19日(水)	受 講 者 数	18名
	部 会 名	①ユニバーサルデザイン研究部会 ②こころとからだのウェルビーイング研究部会		
	講 師	①研究部会長 似内志朗氏 (ファシリティデザインラボ) ②研究部会長 高原 良氏 (株式会社イトーキ)		
	テ ー マ	①知的生産を支えるワークプレイスの条件 ②FM投資効果を可視化する『Work&FM Tech』最前線		
2	開 催 日	2019年10月2日(水)	受 講 者 数	35名
	部 会 名	①オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会 ②人と場へのFM投資価値研究部会		
	講 師	①研究部会長 齋藤敦子 (コクヨ株式会社) ②研究部会長 岡田大士郎氏 (三幸エステート株式会社)		

3	テ ー マ	①再生可能エネルギーを取巻く最新動向 ②大学のファシリティマネジャーの役割 - 改正私立学校法施行に向けて -	
	開 催 日	2019年10月9日(水)	受講者数 27名
	部 会 名	①エネルギー環境保全マネジメント研究部会 ②人と場へのFM投資価値研究部会	
	講 師	①研究部会長 横山健児氏 (株式会社NTT ファシリティーズ) ②研究部会長 藤村達雄氏 (東京音楽大学)	
4	テ ー マ	①初級FMリスクマネジメントと Facility・DIG チェック項目の概要 ②病院のファシリティマネジメント入門	
	開 催 日	2019年10月16日(水)	受講者数 19名
	部 会 名	①リスクマネジメント研究部会 ②ヘルスケアFM研究部会	
	講 師	①研究部会長 上倉秀之氏 (Facility Management 防災 Lab) ②研究部会長 森 佐絵氏 (清水建設株式会社)	
5	テ ー マ	①CRE (企業不動産) のマネジメント事例研究 ②FM 財務評価の基礎知識	
	開 催 日	2019年10月23日(水)	受講者数 27名
	部 会 名	①CRE マネジメント研究部会 ②FM 財務評価手法研究部会	
	講 師	①研究部会長 大野晃敬氏 (東京オペラシティビル株式会社) ②研究部会長 大山信一氏 (三井住友建設株式会社)	
6	テ ー マ	①インフラ点検のすゝめ ②「公共施設等総合管理計画」から「個別施設計画」の策定へ	
	開 催 日	2019年10月30日(水)	受講者数 27名
	部 会 名	①インフラマネジメント研究部会 ②公共施設FM研究部会	
	講 師	①副研究部会長 岩佐宏一氏 (アイセイ株式会社) ②研究部会長 高橋康夫氏 (公益財団法人群馬県建設技術センター)	
7	テ ー マ	①オフィスづくりのためのFMプロジェクトマネジメント基礎講座 ②FM 戦略の立案・実施のポイント(企業経営から地域経営まで)	
	開 催 日	2019年11月6日(水)	受講者数 30名
	部 会 名	①FMプロジェクトマネジメント研究部会 ②FM戦略企画研究部会	
	講 師	①研究部会長 吉井隆氏 (西日本電信電話株式会社) 他 ②研究部会長 高藤真澄 (株式会社NTTファシリティーズFMアシスト)	
8	テ ー マ	①FM 領域に係わる IoT 新技術の動向 ②ファシリティマネジメントのための BIM	
	開 催 日	2019年11月13日(水)	受講者数 31名
	部 会 名	①コンピュータ活用研究部会 ②BIM・FM 研究部会	
	講 師	①研究部会長 天神良久氏 (株式会社ケー・デー・シー) ②研究部会長 猪里孝司氏 (大成建設株式会社)	
9	テ ー マ	①ファシリティ品質に対する評価項目の考え方 ～トイレを例に ②ファシリティマネジャーのための運営維持入門	
	開 催 日	2019年11月20日(水)	受講者数 26名
	部 会 名	①品質評価手法研究部会 ②運営維持手法研究部会	
	講 師	①研究部会長 野瀬かおり氏 (ファシリティマネジメント総合研究所) ②研究部会長 吉瀬 茂氏 (工学院大学)	

## (2) FM・ISO・グローバルセミナー

FMの基本、ISO41001の利用法、及びFMのグローバル状況について全国4会場でセミナーを実施。受講者総数は158名

場 所	①東京会場：JFMA会議室 ②札幌会場：札幌商工会議所・北海道経済センター ③福岡会場：福岡商工会議所 ④大阪会場：ナレッジキャピタルカンファレンスルーム		
参加費用	会員 5,000円 非会員 7,000円		
テ ー マ	①ファシリティマネジメント入門 ②ISO規格とは何か、FM調達規格とは ③FMマネジメント規格の活用方法 ④欧米・アジアのFM最新状況		
開 催 日	①2019年6月28日(金) ②2019年7月18日(木) ③2019年8月9日(金) ④2019年9月25日(水)	受 講 者 数	①19名 ②8名 ③15名 ④31名
講 師	①JFMA 専務理事 成田一郎 ②株式会社松岡総合研究所 代表取締役 松岡利昌氏 ③JFMA ISO推進部長 川村正夫		

## 5. ファシリティマネジメント上級セミナー

ファシリティマネジメントの専門分野について、『社会変革を推進する ファシリティマネジメント』というテーマで、上級者向けのセミナーを行った。企業、大学等で専門分野の最先端で活躍する方々を講師陣とし3日間で開催した。

また、このセミナーはCPD研修セミナーのポイント取得ができるセミナーとなっている。受講者総数は45名。

場 所	JFMA会議室		
受講料	会員 30,000円 非会員 45,000円 (3日間 6講義全受講)		
開 催 日	2019年11月1日(金)	受 講 者 数	15名
1	テ ー マ	クリティカルシンキングをFMに生かす ーイノベーションを生み出す思考の技ー	
	講 師	早稲田大学大学院経営管理研究科 客員教授 鶴谷武親氏	
2	テ ー マ	SDGs・サステナビリティが促す社会・ビジネス・場づくりの変革とは？	
	講 師	株式会社エンパブリック代表取締役 立教大学大学院非常勤講師 広石拓司氏	
開 催 日	2019年11月8日(金)	受 講 者 数	15名
3	テ ー マ	リコーの戦略とSDGs ー脱炭素社会・循環型社会実現への挑戦ー	
	講 師	株式会社リコー サステナビリティ推進本部環境推進室長 佐藤多加子氏	
4	テ ー マ	ウェルネス重視の潮流とWELL認証	
	講 師	株式会社ヴォンエルフシニアアドバイザー、FDL代表 似内志朗氏	
開 催 日	2019年11月15日(金)	受 講 者 数	15名
5	テ ー マ	企業価値向上に向けたCSR、BCP情報の可視化	
	講 師	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 観光学部教授 野田健太郎氏	
6	テ ー マ	5Gとファシリティ価値の最大化	
	講 師	株式会社野村総合研究所テレコム・メディアグループマネージャー 亀井卓也氏	

## 6. 公共向けFMセミナー

公共インフラの健全な維持管理を容易に行うための本「インフラ点検のすゝめ」を発刊し、公共特別会員の全首長宛に送付した。出前講座の依頼を受けたため、次年度に実施予定。

## 7. JFMA FMサマースクール2019

FM・総務サービスを、組織内で実践する上で必要な基本エッセンス（基本ビジネス能力、ホスピタリティ能力、FM専門知識）を集中して学ぶセミナーを、計7日間開催し延べ108名が受講した。

名 称	J F M A F M サマースクール 2018	
1 日 目	2019年8月23日(金) 10:30~17:20	
講 師 と 内 容	1 時 限	FM概観 FMの考え方と事例から学ぶ 成田一郎 JFMA 専務理事
	2 時 限	ホスピタリティ解体新書
	3 時 限	ホスピタリティ自己診断
	4 時 限	ユーザーの声を聞く・聴く・訊く 佐藤昌弘氏 (株)JTBコミュニケーションデザイン
2 日 目	2019年8月24日(土) 10:30~17:20	
講 師 と 内 容	1 時 限	経営戦略、マーケティング
	2 時 限	人材マネジメント
	3 時 限	オペレーションマネジメント、管理会計
	4 時 限	統計学 飯尾英樹氏 IIMO 代表
3 日 目	2019年8月30日(金) 10:30~17:20	
講 師 と 内 容	1 時 限	企業人としての影響力
	2 時 限	ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-1
講 師 と 内 容	3 時 限	ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-2
	4 時 限	MBAとFMの実践 川村 裕氏 JFMA 教育研修委員会 委員 ジョンスラングラーサル(株) シニアプロジェクトマネージャー
4 日 目	2019年8月31日(土) 10:30~17:20	
講 師 と 内 容	1 時 限	グローバルFMを考える 松岡 利昌氏 (株)松岡総合研究所 代表取締役
	2 時 限	【特別講演】 建築の性能・品質・環境を考える 小堀哲夫氏 (株)小堀哲夫建築設計事務所 主宰
	3 時 限	CRE戦略 板谷敏正氏 プロパティテークバンク(株) 代表取締役社長
	4 時 限	企業の不動産戦略と財務 篠原由紀氏 (株)ザイマックス不動産総合研究所 主任研究員

5	日 目	2019年9月6日(金) 10:30~17:20	
講師と内容	1時限	POEとブリーフィング	成田一郎 JFMA専務理事
	2時限	FMワークプレイス戦略	大川 徹氏 JFMA 教育研修委員会 委員 ㈱竹中工務店 ワークプレイス・オフィス本部 専門役
	3時限	SDGsとFMワークショップ	佐藤 彰 氏 2030SDGs 公認ファシリテーター SDGs de 地方創生公認ファシリテーター
	4時限	SDGsとFMワークショップ	
6	日 目	2019年9月7日(土) 10:30~17:20	
講師と内容	1時限	BCP立案(事業継続計画)	森 健氏 森 総合研究所 代表
	2時限	BIMのFMへの活用	猪里隆司氏 JFMA BIM・FM 研究部会 部会長 大成建設㈱設計本部 企画部 企画推進室長
	3時限	FMの業務 プロジェクト管理	山田教彰氏 JFMA FMプロジェクトマネジメント研究部会 JFMA 人と場へのFM投資価値 研究部会 各副部会長
	4時限	健康経営とFM 人と組織のwell-being	齋藤敦子氏 JFMA 広報委員会 委員長委員長 コクヨ㈱ワークスタイル研究所 主幹研究員
6	日 目	2019年9月13日(金) 10:30~17:20	
講師と内容	1時限	経営とFM FMの国際標準化	川村正夫氏 JFMA ISO 推進部長
	2時限	ファシリティマネジャー読本	金 英範氏 JFMA 教育研修委員会 委員 Workwell Japan カントリーマネジャー
	3時限	ワークプレイス見学会	㈱イトーキ TOKYO XORK (同社 新東京本社)
	4時限	ワークプレイス見学会	
受 講 料	会員 60,000円 非会員 70,000円 学生 20,000円		
場 所	JFMA会議室、㈱イトーキ新本社(見学会)		
受講者延数	108名		

## 8. 全国へのファシリティマネジメントの普及

「健康経営とワークプレイス」をさらに発展させ、健康やウェルビーイングの全体像、新しい働き方への取り組みなど、国内外のさまざまな実践事例を通し、これからの新しい働き方について考察するセミナーを、全国3会場で実施した。受講者総数は42名。

場 所	①大阪会場：グランフロント大阪 ②札幌会場：ACU-A アスティ 45 ③福岡会場：ACU HAKATA		
参加費用	会員 3,000 円 非会員 5,000 円		
テ ー マ	①健康経営への JFMA の取り組み ②北欧 FM 調査から見えてきた人と組織のウェルビーイング ③働く人と経営を元気にする健康経営 ④健康経営への取り組み ⑤ウェルネス重視の潮流		
開 催 日	①2019年8月3日(土) ②2019年9月21日(木) ③2019年11月9日(土)	受 講 者 数	①22名 ②10名 ③10名
講 師	①成田一郎 JFMA 専務理事 ②齋藤敦子氏 JFMA 広報委員会 委員長 ③高原良氏 ころもからのウェルビーイング研究部会 部会長 ④平松勝彦氏 パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 浅野健一郎氏 株式会社フジクラ CHO 補佐 ⑤似内志朗氏 JFMA 調査研究委員会 委員長		

## 9. 通信教育の実施

教育研修委員会において、ファシリティマネジメント入門者に向けた教育プログラムを検討。その一手法として、ビデオクリップによる情報発信の試行を、ファシリティマネジメントフォーラム 2020 にて実施。教育体系の整備、WEB での実施、通信教育等の実施に向けた検討を行った。

## 10. 臨時特別セミナーの実施

テレワーク体験、大規模修繕に伴う社会問題、エコチューニングといったテーマについて、下記セミナーをウィークリーセミナーのプログラムに組み込み開催した。

(詳細は3. ウィークリーセミナー参照)

- ①テレワーク体験セミナー
- ②建物の大規模修繕工事によって架空資産と不必要な税金が発生する社会的問題について
- ③省エネ職人から学ぶエネルギーチューニングの神髄

## 11. 新刊本等発刊セミナーの実施

「ファシリティマネジメントのためのBIMガイドライン」発刊記念セミナーを実施。FMとBIMとの関係、FMでBIMを活用することのメリットや可能性について、BIMガイドラインの要点説明とパネルディスカッションを行った。受講者総数は144名。

場 所	イトーキ東京イノベーションセンター-SYNQA		
参加費用	会員 4,000 円 非会員 6,000 円		
テ ー マ	①執筆者によるショートプレゼンテーション ②執筆者によるパネルディスカッション		
開 催 日	①2019年8月 3日(土)	受 講 者 数	144名
講 師	①猪里孝司 氏 BIM・FM 研究部会長 大成建設株式会社 足達嘉信 氏 鹿島建設株式会社 土田真一郎 氏 日本郵政株式会社 石曾根栄之 氏 株式会社FM システム 松岡辰郎 氏 株式会社NTT ファシリティーズ ②猪里孝司 氏 BIM・FM 研究部会長 大成建設株式会社 足達嘉信 氏 鹿島建設株式会社 土田真一郎 氏 日本郵政株式会社 石曾根栄之 氏 株式会社FM システム 松岡辰郎 氏 株式会社NTT ファシリティーズ 添川光雄 氏 森ビル株式会社 友景寿志 氏 大成建設株式会社		

## 付4. 表彰事業

## 付4 表彰事業

ファシリティマネジメントに関する優れた業績、及び功績のあった組織と個人を年1回表彰する。この表彰の制度を日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）と呼ぶ。

2006年に創設以来、2019年度2月までに14回実施し、すでに184件を表彰している。候補案件の募集は公募を原則とし、産官学から招いた有識者11名を審査委員とする審査委員会において、授賞を審議する。

### 1) 表彰の種類

#### a. 優秀ファシリティマネジメント賞（公募）

ファシリティマネジメント手法を取入れ、優れた成果を上げている活動を表彰する。このうち特に優れた活動を「最優秀賞（鶴澤賞）」とする。該当なしの場合もある。

総合的かつ継続的にファシリティマネジメントが定着し経営に貢献しているか、コアビジネスへの貢献はあるか、ファシリティの利用者への貢献はあるか、ファシリティマネジメントの推進体制（組織、財務管理、情報管理、標準と規程管理等）を整備したか、ファシリティマネジメントサイクル（PDCA）を回しているか、時代のニーズに対応しているか、新規性・独創性があるかの視点で審査。

#### b. 技術賞（公募）

ファシリティマネジメントに関する、新しい手法・技術の取組みを表彰する。

ファシリティマネジメントの手法・技術の開発・普及に貢献するものか、新規性・独創性はあるかの視点で審査。

#### c. 功績賞（公募）

ファシリティマネジメントに関する優れた論文（博士論文及び同等以上の論文）、出版、その他の活動を表彰する。

ファシリティマネジメントの推進、普及に貢献するものかの視点で審査。

#### d. 特別賞（非公募）

優秀ファシリティマネジメント賞・技術賞・功績賞の応募の中から、ファシリティマネジメントに関する優れた成果を上げ、特別に表彰すべきと認められる活動等について表彰する。

#### e. 特別功労賞（非公募）

ファシリティマネジメントの普及・拡大等に顕著な功績があった個人及び組織を表彰する。

#### f. 奨励賞（非公募）

優秀ファシリティマネジメント賞、技術賞、功績賞の応募の中から、今後の発展が期待されるものを表彰する。

## 2) 概 要

目	的	FMに関する優れた業績及び功績のあった組織と個人を表彰することにより、日本国内におけるFMの普及発展に資する。		
対	象	目的（日本国内におけるFMの普及・発展に資する）に合致した、日本に拠点を置く組織・個人とする。 ただし、海外の取組み・活動であっても、特段に、日本国内におけるFMの普及・発展に貢献したと認められる場合は、表彰の対象とすることができる。		
表 彰 の 種 類 (公募)	優 秀 F M 賞	FM手法を取入れ、優れた成果を上げている活動を表彰する。 このうち特に優れた事例を「最優秀賞(鶴澤賞)」とする。		
	技 術 賞	FMに関する、新しい手法・技術の取組みを表彰する。		
	功 績 賞	FMに関する優れた論文、出版、その他の活動を表彰する。		
募 集 期 間	2019年7月1日(月)～8月31日(土)			
応 募 者 数	優秀FM賞:12件, 技術賞:4件, 功績賞:4件 計20件			
発 表	2019年12月19日(木)			
表 彰	2020年2月20日(木) ファシリティマネジメントフォーラム 2020にて			
後 援	経済産業省・国土交通省			
審 査 委 員 会	委 員 長	北川 正恭	早稲田大学 名誉教授	
	副 委 員 長	深尾 精一	首都大学東京 名誉教授	
	委 員	安達 功	株式会社日経 BP 執行役員	
		鎌田 元康	東京大学 名誉教授	
		亀山 涉	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官	
		住田 浩典	国土交通省大臣官房 官庁営繕部長	
		長澤 泰	東京大学 名誉教授・工学院大学特任教授 名誉教授	
		村田 博文	株式会社財界研究所 代表取締役	
		柳澤 忠	名古屋大学・名古屋市立大学 名誉教授	
		米倉 誠一郎	法政大学大学院 教授・一橋大学 特任教授	
成田 一郎	(公社)日本ファシリティマネジメント協会 専務理事			

3) 受賞者

賞の種類	タイトル	F M実践組織・個人	サービス提供者
最優秀 F M賞 (鵜澤賞)	持続可能な社会構築のための広域 FM 神奈川県住宅供給公社の事例	神奈川県住宅供給公社	株式会社オービック 株式会社フューチャーネットワークス 一般社団法人 かながわ土地建物保全協会
優秀 F M賞	消滅可能性都市が掲げる持続可能な 公園経営	東京都豊島区	南池袋公園をよくする会 株式会社ランドスケープ・プラス
優秀 F M賞	全室個室病棟の県立下呂温泉病院における FM 実践活動	地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院	株式会社安井建築設計事務所 三重大学 教授 加藤 彰一 名古屋大学名誉教授 谷口 元
特別賞	横浜中央郵便局別館における 施設暫定活用プロジェクトの取組み	日本郵便株式会社 株式会社アカツキライブエンタ ーテインメント	株式会社コスモスモア 株式会社 ヒトバデザイン 株式会社 伊藤木材設計室
技術賞	自然の原音(周波数)を活用し、空間の快適 性を高める技術の開発	株式会社 JVC ケンウッド・ビク ターエンタテインメント	—
功績賞	ブルースタジオ 20 年間の実践と書籍 「なぜ僕らは今、リノベーションを考えるのか」	大島 芳彦 (株式会社ブルースタジオ)	—
功績賞	公共施設屋外におけるパブリックスペイシャル FM に関する研究 (博士論文)	湯浅 かさね (千葉大学大学院 博士研究員)	—
功績賞	ビルメンテナンスの記録に基づく故障・不具合 に関する一連の研究	故障・不具合に関わる 研究グループ (代表 高草木 明、須藤 美 音、千明 聡明、小松 正佳、大 澤 昌志、丹羽 涼介)	—
奨励賞	盛岡市における公共施設マネジメントの実践 と成果	岩手県盛岡市	—
奨励賞	長崎県新庁舎における FM 戦略 ～つながる働き方の本格展開へ～	長崎県	株式会社イトーキ 日建設計・松林建築設計事務所・池 田設計JV ジョンソンコントロールズ株式会社
奨励賞	公民連携で進める FM -公共資産を活かしたまちづくり-	茨城県常総市	茨城県常総市
奨励賞	FM 視点でのワークプレイス改革～NEW OFFICE 建設～	三菱自動車工業株式会社	株式会社竹中工務店
奨励賞	「マイナス」から「プラス」を生み出せ マイナス入札制度の確立	埼玉県深谷 3	—

以上、計 13 件。

## 付5. 調査研究事業

## 付5 調査研究事業

### 1. 調査研究部会活動

調査研究部会は次の3分野18部会である。以下のとおり活動報告を記す。

#### JFMA調査研究部会 2019年度 活動実績

1	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>FM戦略・企画 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u> 都市・地域の持続可能性とFM戦略</p> <p>・サブテーマ：「地域価値の向上」によるまちづくり 2015年国連にて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の「G11：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする」の実現を目指しながら、以下の事項を検討する。</p> <p>① まちづくりによる「地域価値の向上」の具体的事例を検討する。 ② 「地域価値の向上」のための「まちづくり事業と事業性」を研究する。 ③ 豪雨災害に対するレジリエンスについて検討する。 ④ まちづくりによる「地域の持続可能性」への効果を検討する。 ⑤ 事例における民間と公共の役割、公民連携の取組みを研究する。</p> <p>注) 2018年度に観光開発等によるまちづくり研究に着手したが、より広い視点から「地域価値の向上」を取り上げるとともに、地方の小都市を対象とする。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>原則、毎月1回の部会開催において、自主研究の発表と意見交換、研究テーマに関連した情報交換、外部専門家による講演の実施等を行い、部会としての研究テーマに対する検討を進めた。以下にその概要を示す。</p> <p>第1回 2019年4月25日（木）意見交換： 2019年打合せの進め方、まちづくりの類型</p> <p>第2回 5月30日（木）研究発表： まちづくりの類型整理、特区法令概要、事例（東川町、伊達市）</p> <p>第3回 6月27日（木）研究発表： 自治体SDGs、公共FMでのSDGs、事例（神山町、熱海市）、R4原稿</p> <p>第4回 7月25日（木）講演会： 内閣府地方創生推進事務局参事官 遠藤健太郎氏講演「SDGsとFM戦略」 稼げるまちづくり「地域のチャレンジ100」、事例（熱海市）</p> <p>第5回 9月26日（木）意見交換： SDGsとFM戦略、稼げるまちづくり「地域のチャレンジ100」、 事例（倉吉市、矢掛町、長浜市、山形市）</p> <p>第6回 10月31日（木）研究発表： 都市・地域の持続可能性評価項目、人口減少時代の都市計画 （饗庭伸氏講演報告） 事例（海士町・島根留学）、まちづくりフォーマット</p> <p>第7回 11月28日（木）研究発表： 豪雨災害のレジリエンス、事例（真庭市、矢掛町、海士町）</p> <p>第8回 12月26日（木）意見交換： FMフォーラム発表原稿、事例（下川町、真庭市、海士町）、水害リスク</p> <p>第9回 2020年1月22日（水）：意見交換 FMフォーラム発表予行、水災害対策とまちづくり連携（国交省）</p> <p>第10回 2月27日（木）意見交換： FMフォーラム発表の振り返り、今後の活動予定等</p> <p>【FMフォーラム発表】発表概要「都市・地域の持続可能性ー地域活性化とレジリエンス」</p> <p>① SDGs 未来都市・自治体SDGs モデル事業から地域活性化事例を紹介ー「統合的価値創造」 ② 稼げるまちづくり「チャレンジまちづくり 100」から街並みや古建築を活かした観光促進による地域活性化事例を紹介ーモデルとしてアルベルゴ・ディフーズ（街ごとホテル） ③ 最近の頻発する豪雨災害に対するレジリエンスの検討ー人にフォーカスして「豪雨災害時の避難」に注目したレジリエンスとまちづくりにおける対応（タイムライン・ハザードマップ等）</p> <p>最後に、今後の部会の研究予定を示す。事例研究と並行して、まちづくりの効果評価のため持続可能性の構成5項目（経済・社会・環境・文化・都市環境）に関係した主要項目を選定し事例比較の見える化を検討する。 (以上)</p>
---	--	--

2	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>FMプロジェクト マネジメント 研究部会</p>	<p>■社会背景        少子高齢化、グローバル化、ICTの進化、価値観の多様化等、経営者や働く人にとって様々に環境が変化(ダイバーシティ&amp;インクルージョン)する中、「環境変化への対応」や「新たな価値創造」に向けたワークプレイスづくりが重要となる。        あわせて「環境変化への対応」や「新たな価値創造」に向けたワークプレイスを構築するために重要となる「FMプロジェクトマネジメント手法」にも進化が必要である。</p> <p>■メインテーマ        新しい時代に必要とされる、「新たな価値創造に向けたワークプレイス構築」をするために必要なFMプロジェクトマネジメント手法に関する調査研究を行う。</p> <p>■活動実績</p> <p>①テーマ研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな価値創造」に向けたSDGsの視点の理解 (SDGs17 目標全般)</li> <li>・上記視点のワークプレイスづくりとの関わり (ファシリティで解決できそうな目標への絞り込み) 「No3. すべての人に健康と福祉を(Well-being)」 「No8. 働きがいも経済成長も(Engagement)」</li> <li>・上記視点を取り入れたプロジェクトマネジメントスタイル (スコープマネジメント、ステークホルダーマネジメントなど)</li> </ul> <p>②先進事例調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内田洋行</li> <li>・LIFULL</li> <li>・清和ビジネス</li> <li>・SAS Institute Japan</li> <li>・パーソルファシリティマネジメント</li> </ul> <p>③調査研究成果の養成普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JFMA 会議室 (秋の夜学校)</li> <li>・船堀ホール (JFMA フォーラム)</li> </ul> <p>2020 年度活動計画への継続検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs17 目標から新たなテーマの選定</li> <li>・既選定の2 目標におけるプロジェクトマネジメントスタイルの深堀</li> <li>・新型コロナウイルス状況下での調査研究対応</li> </ul>
---	--	---

3	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>リスク マネジメント 研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Facility・DIG」の事例研究・普及浸透</li> <li>・レジリエンスに関する研究と事業継続に関する報告書の改訂</li> <li>・「帰宅困難者施設受け入れ」に関する検討</li> </ul> <p>■活動実績</p> <p>月例研究会を9回実施した。        5/13、6/25、7/25、9/9、10/11、11/25、12/10、1/17、2/4</p> <p>部会意見交換会・セミナーを実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/6 病院BCP意見交換会をヘルスケア部会と実施</li> <li>・10/16 秋の夜学校実施</li> <li>・2/21 FMフォーラム 2020 にて部会発表</li> <li>・「Facility・DIG」の事例研究・普及浸透</li> <li>・6/21 レジリエンス協会演習研究会に協力しFDIGを実施。施設のチェック項目について追加検討を行った。</li> <li>・レジリエンスに関する研究と事業継続に関する報告書の改訂          近年多発する風水害について事例収集を行った</li> <li>・「帰宅困難者施設受け入れ」に関する検討          新宿駅周辺防災対策協議会等の地域防災の取り組みについて情報収集を行った</li> </ul>
---	---	--

4	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>エネルギー環境保全 マネジメント 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>平成 30 年度は、これまでの環境価値に加えて I o T &amp; A I や水素等の最先端技術にも注目した調査研究を実施した結果、システムやサービスの連携、設備のシェアリング及び再生可能エネルギー源の多様化が環境社会に重要であることを見出した。2019 年度は、最近注目が集まっている RE100 等の環境イニシアティブや再生可能エネルギーの動向調査に加えて、VR/MR/AR 技術やドローン等のロボティクス技術にも焦点を当てたエネルギー環境保全に関する調査研究を行った。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>初めに、環境・エネルギー問題が企業に与えているインパクトについて調査研究を実施した。この中で、特に、ESG 投資の拡大はインパクトが大きく、企業にとってビジネスリスクとなっていることを実感した。しかし、新たなニーズは新たなビジネス機会とも捉えている。以下に企業が投資家から求められている主な項目を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境 (E) : 環境経営、環境負荷の状況、気候変動への取組み</li> <li>・ 社会 (S) : バリューチェーンマネジメント、 ダイバーシティ、働き方改革</li> <li>・ ガバナンス (G) : 資本効率、コンプライアンス、株主還元</li> </ul> <p>これらの中で、気候変動(脱炭素)、環境負荷・バリューチェーンマネジメント(循環型社会)、働き方改革が特に重要な項目となっている。そこでこれら項目の詳細な調査研究を実施した。その結果、以下の成果を得た。</p> <p>① 脱炭素に向けた再生可能エネルギーの動向 再生可能エネルギーのコストは化石燃料と同程度まで低下している。特に太陽光発電は大幅なコスト低減が見られ、グリッドパリティも実現している。2020 年にも事業者が作った太陽光発電の FIT 買取りが終了するため、非 FIT 電力の販売拡大が期待される。</p> <p>② 循環型社会に向けたプラスチックごみ問題 中国の廃プラスチック輸入禁止(2018 年)と汚れたプラスチックの輸出入規制(バーゼル条約改正、2019 年)により、廃プラスチックの問題が顕在化している。日本は 84%の廃プラスチックを有効利用しているが、さらなる有効利用に向けて、古紙及び廃プラスチック類を主原料とする固形燃料 RPF (Refuse derived paper and plastics densified Fuel) の活用が注目されている。これにより廃プラスチックの自国内再利用の促進が期待できる。</p> <p>③ 働き方改革に向けた職場環境 職場環境に関しては、「人と活動を基軸にしたオフィス」、「人と人をむすぶオフィス」等、設備よりも人を中心とした事例が多くなっている。今後は、バリューチェーンが拡大して、地域交流や景観、BCP も含めた街づくりと連携していくものと考えられる。</p> <p>これらの調査結果を取り纏めて「ファシリティマネジメント フォーラム 2020」で発表し、環境・エネルギー問題の解決に向けた提言を行った。</p>
---	---	--

5	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>CREマネジメント 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>中長期的な視点に立脚して企業活動を支えると共に、企業価値向上に貢献することを目的とした“企業不動産（CRE）マネジメント”に関する体系的な手法及び事例研究を行い、それらをもとに国内企業への普及・促進を図る。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>1) CREマネジメントに関する最新事例調査 参加委員及び外部講師招聘による討議や意見交換を促進しつつ最新の手法を研究した。また、昨今の働き方改革の取組みの中、不動産賃貸市場での最新の動きであるサービスオフィスのサイト見学も実施。具体的な調査対象は以下を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産ビッグデータの活用（ジョーンズラングラサール）（4/2）</li> <li>・FMにおけるICT活用の最新動向（大成建設）（6/6）</li> <li>・ダイヤゲート池袋（西武ホールディングス）見学（7/5）</li> <li>・東京ガスの事業戦略の変化とグループ不動産事業の再編について（東京ガスファシリティサービス）（9/9）</li> <li>・WeWork 原宿アイスバーグ見学（11/14）</li> </ul> <p>2) CREマネジメントの普及・促進 2015年度に編纂したCREマネジメントハンドブックの普及とともに、研究部会における最新研究を紹介するなど、JFMA会員企業ならびに多くの国内企業に対して働き方改革、ESG・SDGsの観点も含めたCREマネジメントの有効性をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の夜学校にて講演（10/23）</li> <li>・ファシリティマネジメントフォーラム2020での講演（2/21） 「CREマネジメントで組織とワーカーを活性化するノウハウについて」</li> </ul>
---	--	---

6	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>人と場へのFM投資 価値研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>FM投資価値評価を、人間の「感性」や「心情」等の心理的視点、また、「働き心地」や「快適性」等身体的視点での定性評価に焦点を当て、FM投資意義とそのウェルネス効果等を研究するもの。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>「働く」と「ワークプレイス」の再定義を試行。</p> <p>「人」と「場」の相関性要素を、環境、行動、意識の各要素に分解し、価値創造につながってゆくメカニズムを研究。</p> <p>FM Techの最新情報を収集し、それらのテックがいかに関与するワークプレイスの価値を向上させてゆけるものかの仮説設定を行い研究。</p> <p>イトーキの「XORK」を視察し、最先端のワークプレイスの在り方を学ぶ機会を得た。</p> <p>大林組の実証研究成果を共有。ゼネコンが取り組む「健康経営」とウェル・ビルディングの事例を学習。</p> <p>Forum では「人と場」FMが創出するウェルネス組織経営を以下のテーマで発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人と場」の価値を創造するウェルネスFM</li> <li>・ウェル・ビーイングマネジメント</li> <li>・働く人々の「ウェル」と組織の「ウェル」の調和</li> <li>・人への「感性アプローチ」と環境づくり</li> <li>・FM投資効果測定の思考法と「可視化」への挑戦</li> <li>・仮説ストーリーテリング&amp;ロジック法</li> </ul>
---	--	--

7	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>こころとからだの ウェルビーイング 調査研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>「ウェルビーイングを実現する FM 実践手法の確立」 働く人のウェルビーイングに関連する FM の知識や情報を幅広く収集し、それらを FMer 向けの実践ノウハウとして体系化して発信を行う。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>1. 研究会の開催 研究会を月 1 回の頻度で開催。メンバー間で調査の手法、対象についての議論を行い、調査報告、進捗の共有を行った。</p> <p>2. ヒアリング調査 ウェルビーイングに働く人（計 4 名）へのワークスタイルやワークプレイス環境についてのヒアリング調査を実施。</p> <p>3. 研究成果の発表 2019 年 2 月のファシリティマネジメントフォーラムにて、調査の計画、手法、事例について第一報として報告を行った</p>
---	--	--

8	<p>【マネジメント 研究分野】</p> <p>インフラ マネジメント 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>2018 年度に引き続き、官民連携を基本とするインフラマネジメント手法の導入を推進し地方自治体ヒアリング、地元学術団体との連携によりインフラマネジャーの育成、及び ISO の活用・定着のための調査研究活動を行う。また協会主催のファシリティマネジャー育成研修に参加し FM とインフラマネジメントとの融合をめざす。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>①インフラマネジャー育成のための教本「インフラ点検のすすめ」を編集・発刊し、施設点検 2 巡目にあたり地方自治体の若手技術者の教本とすべく、250 団体あまりの自治体に発送した。数か所の自治体から「出前講座」の質問が寄せられる。</p> <p>②JFMA フォーラムにて、上記教本の出版記念シンポジウム「技術者は育てなければ育たない」をテーマに、国交省、富山市等の行政担当を招きパネルディスカッションを開催した。</p> <p>③FM グローバル展開の一環として ISO55001（アセットマネジメント）についての研修会を部会として JAAM 日本アセットマネジメント協会を講師に開催する。</p> <p>④国交省「インフラメンテナンス国民会議」との連携した各種活動に対する参加ならびに実行委員の派遣。市民参画、自治体支援、革新的技術、人材育成、海外展開の各フォーラムに引き続き参加し、社会インフラテック（日経新聞主催・国民会議後援）にてポスターセッションならびに「インフラ点検のすすめ」の即売会を開催する。</p> <p>⑤道路運送法自動車道事業者の団体として 4 月に発足した「日本観光自動車道協会」との共同勉強会を「熱海ビーチライン」にて開催し、台風災害の実態とその後の回復状況を見学し、「想定外の災害にしない」ための施設点検・診断の実務を部会員と共有した。</p>
---	--	---

9	<p>【施設事例研究分野】</p> <p>キャンパスFM 研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>大学は、近年、人口減少期問題、ガバナンス・マネジメントの再構築、教育の質向上の実現、生き残り等、戦略的な経営が求められている。 キャンパスFMはこれらことを踏まえ、長寿命化、省エネ、安全確保、合理化・効率化等を実践していく必要がある。 このため当部会では、FMの視点から求められるキャンパスの姿を再度整理し、今後、2008年発行のガイドブックを見直してゆく。</p> <p>■活動実績</p> <p>1. 学校法人のFMの財務管理 私学FM財務勉強会において整理してきたことを、部会において協議し冊子発行に向けて検討を行ってきた。次年度6月発行を目指している。</p> <p>2. 秋の夜学校 昨年度に続き、キャンパスFMを始めようとする大学のために、まず一歩を踏み出すための取組として「大学のファシリティマネジャーの役割ー改正私立学校法施行に向けてー」を2019年10月9日に発表した。</p> <p>3. フォーラム2020 私学FM財務勉強会の整理にあわせ、2020年施行の改正私立学校法を踏まえ「私立大学の財務支援におけるFMの在り方ー改正私立学校法施行を踏まえ」を2020年2月21日に発表した。</p>
---	---	---

<p>10</p>	<p>【施設事例研究分野】 ヘルスケアFM 研究部会</p>	<p>■メインテーマ 健康・医療・福祉に関わる施設経営戦略を包括的に扱うヘルスケアFMの導入・普及</p> <p>■活動実績</p> <p>①定例会 10回開催・お試し参加7名・新規入会0名 定例会では1年を通し「病院のBCP」「病院と地域のIoT」を中心に討論を行った。特にBCPについては、12/6に副会長平沼から「今回の台風で緊急に見直した埼玉石心会病院のBCP」の報告を行った。</p> <p>【定例のうち、外部講師セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/16「ASEANの保健医療を知る～MDGsからSDGsへ」 国立国際医療研究センター 岡林広哲医師</li> <li>・6/13「まちなかのファシリテーター「訪問看護」を支えるビジネス」 ホーカン TOKYO ビジネスサービス取締役 河田浩司氏</li> <li>・9/17「PDF図面から作れるメンテナンスBIMの紹介」 野原ホールディングス 井上淳氏 病院経営情報分析システムの紹介 セコム医療システムコンサルティング部部長 深尾卓司氏</li> </ul> <p>②JFMAフォーラム シンポジウム 「未来の病院を支えるFMの考え方-病院FMとサービスマネジメントの融合-」 (和泉・加藤) →中止 順天堂大学感染制御学 堀賢教授 工学院大学 長澤泰特任教授 早稲田大学理工学研究所 尾方壮行次席研究員 清水建設医療福祉計画部 杉山靖尚部長 モデレーター 和泉隆</p> <p>③秋の夜学校 ・10月-「病院のファシリティマネジメント入門」 リスクマネジメント部会と同日開催</p> <p>④外部講演 ・11月-HOSPEX医業経営セミナー 「人と先端技術の共生 次世代ケアの中長期視点とインフラ」 経済産業省ヘルスケア課係長 佐々木稔氏 シスコシステムズ合同会社 若林友行氏</p> <p>④医療関連団体との連携活動 上記活動を通して関連団体との連携を維持している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医業経営コンサルタント協会</li> <li>・日本医療福祉設備学会</li> <li>・日本医療福祉建築学会</li> <li>・日本看護協会</li> <li>・病院管理学会・集団災害医学会</li> </ul>
-----------	--	---

11	<p>【施設事例研究分野】</p> <p>公共施設FM 研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>自治体においては、公共施設等総合管理計画の策定を終え、個別施設計画策定へシフト中であるが、個別計画策定のあり方について、公共資産の最適な施設維持管理運営、品質向上へ向けて、公共FMへの取り組み、調査、研究を行う。</p> <p>■活動実績</p> <p>総務省が地方自治体へ発出した、個別施設計画策定期限を来年度に控え、FMの最新情報を中心に講師を招いての研修会を以下に示すように月1回の割合で開催し、部会員の見識を深めるとともに、秋の夜学校における講演及びJFMAフォーラムで公開シンポジウムを行った。</p> <p>4月：「公共施設マネジメントの昨日・今日・明日」 講師：椿幹夫氏（山下設計）</p> <p>5月：「公共FMにおけるSDGs（持続可能な開発目標）」 講師：安蘇秀徳氏（東京美装興業）</p> <p>6月：「地方都市沼田市のFMについて～新庁舎包括管理～」 講師：戸部隆之氏（沼田市）</p> <p>7月：「実務と学術の両面から考える現代のFMのあり方」 講師：瀬田史彦氏（東京大学）、伊達康之氏（狛江市）</p> <p>9月：「公共FM合宿&amp;小田原市の公共FMについて」 講師：細谷夢津美氏（小田原市）</p> <p>10月：「公共施設マネジメントの初期事例から、その目的・活用を改めて考える」 講師：藤木秀明氏（東洋大学）</p> <p>11月：「行政経営に必要なコスト情報とは」 講師：萩原芳孝氏（久米設計）</p> <p>12月：「自治体が生き残るための、自治体職員と共につくりあげる公共施設マネジメント」 講師：南野稔氏（サウスフィールド・マネジメント） 大高宣光氏（KENアソシエイト）</p> <p>1月：「防災は人づくり町づくりからFMへの道筋」 講師：平岡まもる氏（全国アマチュア無線非常通信ボランティア） 安蘇秀徳氏（東京美装興業）</p> <p>2月：JFMAフォーラム：公共FMシンポジウム「公共FMバトル～学×民×官～」の開催 パネリスト：南学氏（東洋大学） 池澤龍三氏（建築保全センター） 宮谷卓志氏（鳥取市役所）</p>
----	--	--

<p>12</p>	<p>【施設事例研究分野】</p> <p>ユニバーサルデザイン 研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>ミッション「オフィスのUD導入の価値を明らかにし、導入の道具立てをつくる」に立ち返り、UD総合評価手法改訂及び情報収集、執筆・シンポジウム等の普及活動等を行う。</p> <p>■活動実績</p> <p>概観すれば、ユニバーサルデザイン研究部会の固有の活動は限定的なものとなり、健康経営タスクフォースとの一体化した調査研究、啓発活動に重きを置いた。当初予定していたUD総合評価手法改訂に関しては、必要性を含め再度見直しを行うこととした。情報収集、執筆・シンポジウムに関しては、相当数、行ってきた。</p> <p>①健康経営タスクフォースとの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営キャラバン「ウェルネス重視の潮流」(2019. 08. 03 大阪、2019. 09. 21 札幌、2019. 11. 09 博多、)</li> <li>・JFMA ジャーナル R4「人フォーカスの時代のユニバーサルデザイン -健康経営タスクフォースとの協働から気づかされたこと-」(2019. 7)</li> <li>・からくさ不動産塾「人フォーカス時代の ESG」(2019. 12. 11)</li> <li>・FM フォーラム「健康経営シンポジウム」(2020. 02. 21)</li> <li>・TF 共著「健康経営とワークプレイス」の普及推進(通年)</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザイン固有の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスクル「みんなの仕事場」(インターネット専門誌)への記事掲載(インタビュー記事)(2019. 8. 8)</li> <li>・FM 秋の夜学校「コンパクト&amp;ユニバーサル」(2019. 09. 25)</li> <li>・FMS7 オフィスユースウェアマネジメント研究会「wellness の流れ」ウェルネス重視の潮流(講演)(2019. 10. 17)</li> <li>・メンバーミーティング(随時)</li> </ul>
-----------	--	---

13	<p>【固有技術研究分野】 運営維持手法研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u> ～『納得感もてる最良の運営維持』を目指して～ ユーザーの視点に立ったファシリティ運営維持業務と、その評価に関するあり方を 探る。</p> <p>「活動方針」 ～運営維持の視点で『きっかけづくり』～ 「活動理念」 ～人と社会との関わりを良好に保つために～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設そのものの性能と室内環境（執務空間・生活空間）</li> <li>・施設を利用する人たちの満足度（利用者満足度）</li> <li>・地域や地球環境への対応（配慮）</li> </ul> <p>これらにスコープをあて、ユーザーの視点に立ったファシリティ運営維持業務 とその評価に関するあり方について、調査研究活動を行う。</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>①「ライフサイクルマネジメント/LCM」～取組へのヒント～ と題して、部会の活動方針・理念を基に研究活動を行なった。 LCMの取組み（考え方）について実務経験者の視点に基づいた資料収集を行なっ た。 また、部会とは別に、活動WG（3チーム編成）を設置して5回の会合を開催し 研究活動を行なった。 部会活動の成果として、JFMA FORUM 2020で「運営維持の視点で『ファシリティ マネジャーを育てる』～ヒント/きっかけづくり～と題して取り組み成果を紹 介した。 また、ウイークリーセミナー(11/20 秋の夜学校)で「ファシリティマネジャー の運営維持入門」と題し、Life Cycle Managementの取組み方(考え方)につい て」を昨年に引き続きレクチャーを行った。</p> <p>②テーマに関する分野の専門家や実務経験者を招聘し、部会セミナー5回、見学会 1回、秋の夜学校での講演1回を開催し意見交換をお行なった。</p>
----	----------------------------------	--

14	<p>【固有技術研究分野】 品質評価手法研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u> サステナブルな社会のためのファシリティ品質検討 —日本の文化、日本人に適応しやすいFMとは—</p> <p>■<u>活動実績</u> 毎月1回の定例会部会を、JFMA事務局およびスカイプにおいて行った。 メインテーマに沿って2019年度から3年程度での部会活動について 話し合い、まず、2019年度には「人を中心とした」「日本人にフィットした」 「日本発信の」FMやファシリティのあり方について議論を行うことを決めた。 FMは欧米から輸入された考え方であるという観点から、欧米人と日本人の 文化や思考の傾向などの違いについて、それぞれが資料を持ち合い、 情報共有を行った。 また、9月末に大阪で合宿を行い、フェスティバルタワーやあべのハルカス を中心に、大阪の建物や街を見学した。また、大阪市立阿倍野防災センター 「あべのタスカル」では、大阪の街の防災について体験展示を見学した。 合宿の様子については報告書にまとめて、合宿に参加できなかった部会員 を含めて情報を共有した。</p>
----	----------------------------------	---

15	<p>【固有技術研究分野】</p> <p>FM財務評価手法 研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>情報処理から知識創造へと働き方が変わり、昨今では、人工知能等による働き方の質的变化が起こりつつあるなかで、知的生産性は経営にとって重要なテーマである。同時に、ワークプレイスが働く人の意識と行動に働きかける効果への注目が高まるなか、知的生産性を切り口としたワークプレイスのマネジメント方法についての研究を行う。働き方・組織・ファシリティという3つのカテゴリによるSOFモデルを仮説とし、実践研究を行いながらFMのツール開発やガイドラインの策定を進めたい。</p> <p>■活動実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定例会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新情報収集やSOFモデルの進捗共有</li> <li>・部会員による今後の研究方針のディスカッション</li> </ul> </li> <li>2. 見学会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・梓設計本社 HANEDA SKY CAMPUS 見学と意見交換</li> </ul> </li> <li>3. 分科会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SOFモデルの検証（A社オフィスのビフォー&amp;アフター比較）</li> <li>・SOFモデルアンケートのバージョン2完成 →参加企業募集</li> <li>・ガイドブックの製作準備</li> </ul> </li> <li>4. アカデミア（学会等）との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス学会、建築学会での発表</li> </ul> </li> <li>5. FM領域への展開検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校版SOFモデルの試作と意見交換</li> </ul> </li> </ol>
16	<p>【固有技術研究分野】</p> <p>オフィス・ ワークプレイスの 知的生産性研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>知的生産性を支えるワークプレイス・モデル「SOF」（ワークスタイル、組織、ファシリティ）の研究開発と、実践のためのツールづくり。 また、知的生産性に関する関連団体との情報交流、ファシリティマネジメントフォーラム2019、オフィス学会や建築学会等での研究成果の発表。FM領域で係わるICT新技術の調査</p> <p>■活動実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 月1回程度の研究会の開催 ワークプレイスと知的生産性に関するトレンド調査や意見交換 メンバー企業のオフィス訪問など</li> <li>2) 分科会でのSOFモデルの検討項目のスクリーニングを目的としたアンケート調査実施実企業でのアンケート・トライアルを実施。 アンケート結果からのコンサルティングも含め実施上の課題、改善策等を抽出・検討。 SOFの項目毎ステージ評価システムの作成</li> <li>3) 外部研究機関との協働 オフィス学会や建築学会等での発表とフィードバック</li> <li>4) 研究成果の発表 ファシリティマネジメントフォーラム2019、ウィークリーセミナー、オフィス学会、建築学会での発表JFMAジャーナルへの執筆</li> </ol>

17	<p>【固有技術研究分野】</p> <p>コンピューター活用 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <p>FM領域で係わる ICT 新技術の調査 「保全システムの活用事例の調査」 「Eco・Lcc 削減を可能にする環境配慮型 ICT 新技術の調査」 「AI・BIM を利用した FM での活用事例調査」 FM 財務評価の普及を図る</p> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>【勉強会】</p> <p>4 月：「多国籍企業のコミュニケーション術」について 5 月：「業務改革」 実践『働き方改革のカギとなる ICT の活用事例』に」 の紹介 6 月：「施設資産の LCM」について 9 月：「環境活動取組みの必要性と弊社事例」 の紹介 11 月：「建物の長期保全の観点からビル管理に伴うソリューション」 の紹介 1 月：「日常の空間で音を整える設計手法」 について</p> <p>【見学会】</p> <p>7 月：「アクティオロボットセンター」 見学会開催 10 月：「ハイレゾ音響空間 KooNe（ビクター）」 見学会開催 12 月：「東急コミュニティ研修センター（NOTIA）」 見学会開催</p>
----	---	--

18	<p>【固有技術研究分野】</p> <p>B I M ・ F M 研究部会</p>	<p>■<u>メインテーマ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ファシリティマネジメントのための BIM 活用ガイドライン」 の普及と展開</li> <li>・ BIM と FM 連携による BIM 及び FM 双方の高度化</li> </ul> <p>■<u>活動実績</u></p> <p>2019 年 8 月に「ファシリティマネジメントのための BIM ガイドライン」 を発行し、12 月に出版記念シンポジウムを開催した。また JFMA フォーラム 2020 で「BIM シンポジウム」 を開催した。</p> <p>研究部会を月 1 回開催し、「ファシリティマネジメントのための BIM ガイドライン」 の出版および出版記念シンポジウムに向け議論した。</p> <p>2019 年 6 月に発足した国土交通省の「建築 BIM 推進会議」とその下部の「環境整備部会」「環境整備 WG」 に JFMA からの委員として参加した。</p> <p>部会および WG での議論を研究部会内で共有するとともに、意見聴取を行い、部会で整備するワークフロー案に反映させた。</p>
----	---	---

## 2. 海外ファシリティマネジメント調査団

海外におけるファシリティマネジメント先進事例を調査・研究すると共に、海外のファシリティマネジメント関係者と交流しネットワークを構築することにより、わが国のファシリティマネジメントの発展に資するため、海外を対象に調査団を次のとおり派遣した。

- (1) テーマ : 欧州3国FM視察調査団
- (2) 訪問先 : ロンドン (イギリス)、アムステルダム (オランダ)、チューリッヒ (スイス)
- (3) 期間 : 2019年10月19日～同月27日
- (4) 参加人数 : 30名
- (5) 主要な視察調査場所

- ・ロンドン

- ① One King William Street  
NTT-UDが歴史的な重要施設を保存してリニューアル工事をしたオフィスビル
- ② PLP Architecture  
先進的な設計を行う建築事務所。The Edgeを設計した。
- ③ レッチワースガーデンシティ  
都市と農村の長所を融合させた、田園都市の成り立ちと現状について。

- ・アムステルダム

- ① NDSM エリア  
アーティストたちが集まる文化的再生スポットによる都市再生。
- ② The Edge  
世界で最もスマートなオフィスビルディング
- ③ Edge Olympic  
ウェルネス、リノベーション、スマートオフィスビルディング
- ④ アムステルダム市役所都市計画局  
市の公共空間デザインガイドラインと気候変動適応を推進
- ⑤ ホテルオークラアムステルダム  
ホテルの人事政策と従業員のウェルネスを追求

- ・チューリッヒ

- ① チューリッヒ大学病院  
医療技術、研究レベル、施設規模ともに世界有数の総合病院を支えるFMの現状と未来
- ② スイスポスト社  
事業の多角化と効率的なイノベーション投資。
- ③ サテライトオフィス  
役員クラスを対象としたコワーキングオフィスの提供。

付6. I S O関連事業及び

I S Oの日本工業規格(J I S)関連事業

## 付6 ISO関連事業

### 1. ファシリティマネジメント国際標準化（ISO）への対応

- (1) ファシリティマネジメント国際規格に関する情報収集  
2019年6月にダブリンで開催されたISO/TC267FM国際全体会議に参加し、FM国際標準化活動に対する情報収集を行う。  
2019年11月にペテルブルグで開催されたISO/TC267FM国際全体会議に参加し、FM国際標準化活動に対する情報収集を行う。
- (2) EuroFMによる国際FMネットワークに関して情報収集  
2019年6月にダブリンで開催されたEuroFMコンファレンス(EFMC)のアンバサダー会議、全体コンファレンスに参加し、情報収集、欧州各国との情報交換を実施した。
- (3) ISO 41001のJIS化作業  
FM ISO規格ISO 41001に対応するFM JIS規格を作成するため、FM JIS原案作成委員会を設立し、委員会及び分科会を運営した。  
2019年12月：第1回分科会（準備会）  
2020年1月：第1回本委員会  
2020年2月：第2回分科会  
分科会でFM JIS原案の素案を作成し、委員会で素案に対して審議を行った。
- (4) ISO 41001の普及活動  
FM・ISO・グローバルセミナーでISO規格の説明や活用方法を紹介した。

## 付7. 広報事業

## 付7 広報事業

### 1. ファシリティマネジメントに関する広報事業

ファシリティマネジメントに関する広報を目的として、ホームページの開設運用、メールマガジンの定期的な発行、機関誌の定期的な発行、新聞雑誌等マスコミへの広告、ファシリティマネジメントフォーラムを活用した情報発信と展示会及び地方自治体等公共機関への訪問、広報等を行った。

### 2. 機関誌「JFMAジャーナル」の定期的な発行

「JFMAジャーナル」は、FMに関する最新情報を特集形式で取り上げ、FMの本質と時代性を反映させると共に、JFMAからのメッセージを発信している。特にFM知識・情報の集積と保存性を考慮すると共に、内容の読み易さ、理解のし易さ、美しさを考慮したデザインを目指している。

今期は春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）及び冬号（1月）の年4回季刊誌を発行し、会員に頒布した。

春号 No.194 (3,600部)

特集 ファシリティマネジメントフォーラム2019 特集号  
第13回 日本ファシリティマネジメント大会

夏号 No.195 (3,000部)

特集 ファシリティマネジメントの国際標準ISO41000 シリーズ  
企業力向上のための経営マネジメント／防災・減災②

秋号 No.196 (3,000部)

特集 変わる学校  
これからの学校にFMができること／防災・減災③

冬号 No.197 (3,700部)

特集 ウェルビーイング・サステナビリティを支える骨太のFM  
JFMA欧州3国FM視察調査団

### 3. Web版「JFMAジャーナル・オンライン」の運用

紙ベースの機関紙「JFMAジャーナル」が年4回、季刊で発行するが、JFMAからの周知事項、会員情報等をタイムリーに知らせる必要がある。そのために、インターネットを利用し、毎月Web上にタイムリーな情報を掲載する「JFMAジャーナル・ONLINE」を運用し、「JFMAジャーナル」のトピックスを中心に紹介するとともに、コラム「FM玉手箱」やセミナー報告などタイムリーな情報の提供を行った。

### 4. ホームページの運用

わが国を代表するファシリティマネジメント関連組織として、JFMAホームページは、2019年度末実績で年間250万回のアクセスのあるウェブサイトとなっている。ファシリティマネジメントに関する情報、JFMAの主要な事業や行事に関する情報、調査研究成果に関する情報等の発信、各種提言内容の周知等を行うと共に、JFMAが蓄積した各種のファシリティマネジメント関連情報の検索、会員相互の情報交換の場として活用されている。

今期も引き続き、タイムリーな改定を行い、常に新鮮な情報の提供を行った。ホームページの主な構成は、次のとおりである。

(1) ファシリティマネジメント（FM）とは

- ① FMとはどのようなものか
- ② FMの必要性

- ③ FMの効果
- (2) 協会概要
  - ① 事業概要
  - ② 基本情報及び組織
  - ③ 定款・公開資料
- (3) JFMA会員
  - ① 制度のご案内と特典
  - ② 会員一覧
  - ③ 入会お申込み
  - ④ 会員登録情報の更改
- (4) 認定ファシリティマネジャー資格
  - ① 概要
  - ② 資格者データ
  - ③ 資格試験
  - ④ 新規資格登録申請
  - ⑤ 登録資格更新
  - ⑥ IFMA/CFM相互認証制度
  - ⑦ 資格登録情報の変更
  - ⑧ 求人情報
- (5) セミナー・報告会
  - ① ウィークリーセミナー
    - ・参加申込
    - ・開催記録
  - ② FM上級セミナー
  - ③ FM初級スクール
  - ④ 専門分野別セミナー（調査研究部会公開セミナー、FM財務評価セミナー）
  - ⑤ 各種企画セミナー
- (6) 調査研究
  - ① 調査研究
  - ② 各研究部会・参加申込
- (7) ファシリティマネジメントフォーラム
  - ① ご案内と開催記録
- (8) JFMA賞
  - ① 第14回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）受賞者発表
  - ② 応募要項
  - ③ 過去の日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）の受賞者
- (9) 書籍・報告書
  - ① 書籍紹介
  - ② ご購入お申込み
- (10) 機関誌
  - ① 新着情報
  - ② JFMA JOURNAL（ジャフマジャーナル）公開版 最新号
  - ③ バックナンバー
- (11) メールマガジン
  - ① ご案内
  - ② メンバー登録と配信先変更届け等
- (12) お問い合わせ
- (13) 事務局案内地図
- (14) サイトマップ

## 5. メールマガジンの定期的な発行

ファシリティマネジメントに関する最新情報を、一般向けメールマガジン「JFMAIL」として月平均2回、約6,000人の登録者へ合計21回発信した。

公共機関関係向けのメールマガジン「公共FM推進ネット」は毎月、259団体の地方自治体等登録者約259人へ合計13回発信した。

年間の読者数は、「JFMAIL」が延べ約126,000人、「公共FM推進ネット」が延べ約3,100

人と推定できる。

案内する情報の詳細は、JFMAホームページにより掲載されているが、メールマガジンでは最新の内容を簡潔に案内することにより、価値ある情報に利用者がアクセスしやすいように配慮している。

## 6. 「ファシリティマネジメントフォーラム 2020」のスポンサー募集とガイドブック等発行

「ファシリティマネジメントフォーラム 2020」開催にあたり、会員及び会員以外の企業を対象とし、51社より数種類のスポンサー（ダイヤモンド、ゴールド、シルバー）を募った。

フォーラムの参加者配布用に作成する「ガイドブック」には、セミナープログラム、セミナー概要やJFMA賞受賞案件概要のほか、スポンサー企業の広告（企業のロゴと名称）を掲載し、スポンサーの広告は、フォーラム期間中、数枚のパネルに掲載し、会場内に掲示するとともに、ホームページに掲載した。パネルは1枚をフォーラム終了後一年間、JFMA事務局の会議室壁面に継続掲示する。

ホームページでは、スポンサー企業のホームページとリンクさせた。

JFMAILの2020年1月から3月に発信する本文に、スポンサー協賛の各社社名を種類ごとに掲載した。

今期は、下記のとおり実施した。

### (1) スポンサー (52社)

種類	名称
ダイヤモンド 13社	ARCHIBUS/イオンディライト(株)/イトーキ/内田洋行/ (株)NTTファシリティーズ/(株)FMシステム/JR東日本ビルテック(株)/ 住友セメントシステム開発(株)/大成建設(株)/プロパティデータバンク(株)/ 三井不動産(株)/三菱地所(株)/森ビル(株)
ゴールド 19社	イナパインターナショナル(株)/NTT都市開発(株)/大林組(株)/オカムラ 鹿島建設(株)/コクヨ(株)/ザイマックス/三機工業(株)/清水建設(株)/ 高砂熱学工業(株)/TME S/(株)竹中工務店/日本郵政(株)/日本メックス(株)/ 日比谷総合設備(株)/福井コンピュータアーキテクト(株)/プラス(株)/ (株)山下PMC/(株)ビケンテクノ
シルバー 19社	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング(株)/ウフル(株)/共立建設(株)/構 造計画研究所/コニカミノルタ(株)/コンステックホールディングス/ジョーンズ ラングラサル(株)/スターメンテナンスサポート/ 総合警備保障(株)/大星ビル管理(株)/東京美装興業(株)/ダイダン(株)/ (株)ディー・サイン/東急不動産(株)/東京ガス不動産(株)/日建設計/ (株)日本設計/ファシリティパートナーズ(株)/リコージャパン(株)
おもてなし 1社	(株)ダイオーズ

- (2) ガイドブック      スポンサー広告を掲載するガイドブック 3,000部発行
- (3) 広告パネル      スポンサー広告を掲載するパネル3枚作成し期間中会場に掲示  
1枚は持ち帰りJFMA事務局会議室に一年間掲示
- (4) ホームページ      2020年1月～3月、スポンサー広告はホームページに掲載し、  
各企業ホームページとリンクを設定した
- (5) 機関紙              2020年冬号機関紙「JFMAジャーナル」にスポンサー広告  
を掲載

付 8 . 交 流 事 業

## 付8 交流事業

今期は、主として下記の交流を行った。

### (1) ファシリティマネジメントフォーラム 2020 における交流

#### ① グローバルFMサミットの開催

日 時：令和2年2月20日(木)

米国 (IFMA)、韓国 (KFMA)、オランダ (PLANON社) 及び中国 (ベストスマート社) からFMのトップリーダーが参加し、各国の最新FM事情を発表し、意見交換を行った。

#### ② ネットワーキングパーティ、JFMA賞受賞祝賀会の開催 (中止)

直前まで開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止した。

### (2) その他海外のFM関連団体との交流 (ISO関連を除く)

#### ① 欧州最大のFM組織ネットワーク、EuroFMの国際大会 (EFMC : European Facility Management Conference 2019) への参加

主 催：European FM Network

期 間：2019年6月12日-14日

場 所：アイルランド・ダブリン市

参加者：松岡利昌 (JFMA 理事、EuroFM アンバサダー)、川村正夫 (ISO 推進部長)

概 要：アンバサダー会議における日本のFM状況報告 (松岡利昌)

Conference：英国、ドイツ、スイス、タイ他と情報交換 (松岡利昌、川村正夫)

#### ② KFMA第25回国際シンポジウムへの参加

主 催：Korea Facility Management Association

テーマ：Survival FM (変化の時代、FMの役割)

日 程：令和元年11月7日(木)

場 所：ソウル大学 HOAM Faculty House, Samsung Convention Center

参加者：成田一郎 (JFMA専務理事)、金英範 (JFMA 教育研修委員)

概 要：講演①日本における災害と防災 (成田一郎)

講演②WorkWell Japan (金英範)

### (3) その他

国内FM関連団体 (北海道FM協会、四国FM協会他)、学会、大学、地方公共団体等とセミナー等で交流した。

